

KL-M30

取扱説明書 保証書付

別紙の「はじめにお読みください」をお読みになった後、こちらをお読みください。

ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

はじめに

本機を使ってできることを説明しています。

準備編

電源との接続、テープカートリッジの装着などを説明しています。

おためし印刷編

簡単なデータを作って印刷するまでの流れを説明しています。

ラベル作成編

工夫したデータの作り方を説明しています。

デザインロゴ編

デザインロゴの印刷やインストールの方法を説明しています。

入力・編集編

文字の入力・修正や書体の変更などを説明しています。

設定編

画面の輝度、印刷の濃度、入力音の設定などを説明しています。

付録

使い方が分からなくなったときの対処などを説明しています。

ご 注 意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

その他本書に記載されている各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

© 2007 CASIO COMPUTER CO., LTD. All rights reserved.

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収 / 分解し、再資源化しております。

使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書は KL-M30 について説明しています。
付属のソフトウェアについては、「CD-ROM 収録の PDF ファイル取扱説明書」をご参照ください。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点やお気付きの点などがありましたらカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。
- 本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 危険

アルカリ電池について

- ❗ アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。
 1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
 2. ただちに医師の治療を受ける。そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

- ⊘ 煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
 1. 電源スイッチを切る。
 2. USB ケーブルをはずす。
 3. プラグをコンセントから抜く。
 4. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご連絡する。

AC アダプター / USB ケーブルについて

- AC アダプター / USB ケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。次のことは必ずお守りください。
 - ❗ 必ず付属品を使用する
 - 電源は、AC100V(50/60Hz) のコンセントを使用する
 - ⊘ 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしな

⚠ 警告

AC アダプター / USB ケーブルについて

電源コード / USB ケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

-  ● 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
-  ● 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口ご連絡する

AC アダプター / USB ケーブルについて

-  ● 濡れた手で電源コード / USB ケーブルやプラグに触れないでください。感電の原因となります。
- AC アダプター / USB ケーブルは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- AC アダプター / USB ケーブルの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となります。次のことは必ずお守りください。

-  ● 分解しない、ショートさせない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない
-  ● 極性（+と-の向き）に注意して正しく入れる

落とさない、ぶつけない

-  ● 本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
 1. 電源スイッチを切る。
 2. USB ケーブルをはずす。
 3. AC アダプターのプラグをコンセントから抜く。
 4. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口ご連絡する。

分解・改造しない

-  ● 本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

⚠ 警告

水、異物はさける



水、液体、異物（金属片など）が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USB ケーブルをははずす。
3. AC アダプターのプラグをコンセントから抜く。
4. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口連絡する。

火中に投入しない



本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

袋をかぶらない、飲み込まない



本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない



電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火や火傷の原因となります。また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

⚠ 注意

AC アダプター／USB ケーブルについて

AC アダプター／USB ケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。



- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コード／USB ケーブルを引っ張らない（必ず AC アダプター本体／USB ケーブルのプラグを持って抜く）



- AC アダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- USB ケーブルのプラグはコネクタの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときは AC アダプター／USB ケーブルのプラグをコンセント／コネクタから抜く
- ご使用後は電源スイッチを切り、AC アダプター／USB ケーブルのプラグをコンセント／コネクタから抜く
- 電源コードのプラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
- 電源コード（特にプラグ部分）、AC アダプター（特にプラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使用しない

⚠ 注意

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない
- 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておく

コネクター部への接続

- コネクター部には、指定されたもの以外は接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

大切なデータは控えをとる

- 本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障や修理などにより、記憶内容が消えることがあります。

重いものを置かない

- 本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

⚠ 注意

置き場所について

- 本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
 - 湿気やほこりの多い場所
 - 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
 - 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

不安定な場所に置かない

- ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

- 本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切る恐れがあります。

高温注意

- プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどする恐れがあります。

⚠ 注意

表示画面について

- ❌ 液晶表示画面を強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。
液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。
皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったたり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

オートテープカッターに注意する

- ❌ 電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れないでください。
オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。

テレビ・ラジオのそばでのご使用について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。
使用温度範囲は、10℃～35℃です。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲（10℃～35℃）の環境に戻してからご使用ください。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法（114 ページ）をご覧ください。
- 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用した場合、本機内部にある光センサーが誤動作を起こしエラーメッセージを表示することがあります。強い光が当たらない場所でお使いください。

目次

こんなことができます	11
------------	----

準備編 12

各部の名前とはたらき	12
本機を使う前の準備	14
電源について	15
ACアダプターで使う	15
記憶したデータの保持について	17
はじめて使うときは「メモリーの初期化」を!	17
電源を入れる・切る	18
オートパワーオフ(節電)機能について	18
印刷する文章の作り方について	19
テープカートリッジを取り付ける / 取り外す	20
テープカートリッジを取り付ける	20
テープカートリッジを取り外す	21
キーのはたらき	22
キーの表記について	23
画面について	24

おためし印刷編 25

まずは作ってみましょう	25
ラベルを印刷する	25

ラベルを貼る	27
テープを空送りする	27
テープの余白を「送り無」にしたときは	27
終了する	28

ラベル作成編 29

ラベル作成の流れ	29
操作の流れ	29
フォーマットを選んで作る(用途別ラベル)	30
フォーマットを選ぶ	30
通し番号のついたラベルを作る(ナンバリング)	32
ナンバリングの種類	32
大きなラベルを作る(拡大印刷)	34
自由に入力して作る(フリーラベル)	36
フリーラベルを作る	36
2行以上のラベルを作る	36
文章をブロックに分ける	37
ラベルの書式を決める	38
ブロックごとに書式を決める	38
文章全体の書式を決める	40
ラベルの長さを自由に決める	42
ブロックの長さを設定する(ブロック長固定)	42
ラベル全体の長さを自由に設定する(テープ長固定)	44
CD・DVD・VHS用のラベルなどを簡単に設定する(テープ長さキー)	45
文章のバランスを整える(割付)	46

ブロック内で文字のバランスを整える	46
ラベル内のブロックのバランスを整える	47
文字の大きさを決める	48
文字単位で大きさを決める	48
行単位で大きさを決める (フォーマット選択)	50
フレームを付ける	52
縦書きのラベルを作る	53
バーコードラベルを作る	54
バーコードのタイプ	54
バーコードの仕様	56
QR コードラベルを作る	57
印刷できる QR コードのタイプ	57
伝言板を使う	60
印刷とカットモード	62
カットモードについて (オートカッター)	62
カットのしかたと余白について	65
作成したデータを登録する・呼び出す	66
データを登録する	66
登録したデータを呼び出す	66
登録したデータを削除する	67

デザインロゴ編 69

ロゴ入りのラベルを印刷する (デザインロゴ)	69
パソコンにデザインロゴをダウンロードする	69
ダウンロードしたデザインロゴを本機に転送する	70

デザインロゴを印刷する	72
デザインロゴデータを削除する	74

入力・編集編 75

カーソルのはたらきと動かし方	75
ローマ字入力?それともかな入力?	76
ローマ字入力とかな入力を切り換える	76
入力する文字の切り替え方法	76
ひらがな・カタカナの入力	76
アルファベット (大文字・小文字) の入力	76
ひらがな・カタカナの入力	77
ひらがなの入力	77
カタカナの入力	77
いろいろな文字の入力方法	78
漢字の入力	78
文章を入力してから変換する	78
同音異義語を変換する	79
漢字 1 文字ずつ変換する (単漢字変換)	80
漢字辞書を使って文字を入力 (漢字辞書機能)	81
読みから呼び出す	81
総画数から呼び出す	82
部首から呼び出す	83
アルファベットや数字の入力	85
アルファベット (大文字) の入力	85
アルファベット (小文字) の入力	85

数字の入力	85
記号の入力	86
キーに印刷されている記号	86
その他の記号	86
絵文字の入力	87
文字を修正・削除するときは	87
間違っただけの文字を消す	87
すべての文字を消す（文削除）	88
間違っただけの文字を直す	89
文字が抜けていたら	90
書体（フォント）を変える	91
入力済みの文字の書体を変える	92
電源を入れたときの書体を決める	93
文字を上付・下付にする	94
文字を目立たせる	95
文字に飾りをつける	97
文字修飾を指定する	97
文字修飾を取り消す	98
よく使う語句を登録する / 呼び出す （プリセットタイトル）	99
プリセットタイトルを呼び出す	99
新しくプリセットタイトルを作る	99
プリセットタイトルを修正する	100
プリセットタイトルを削除する	100
日付や時刻をデータに挿入する	101
現在の日付や時刻をデータに挿入する（タイムスタンプ）	102

指定期間が経過後の日付や時刻をデータに挿入する（タイムスパン）	102
入力した文字をコピーする・貼り付ける （コピー・ペースト）	103
文字をコピーする	103
コピーした文字を貼り付ける（ペースト）	103
オリジナルの文字（外字）を作る	104
はじめから自分で作る（新規作成）	104
本機にある文字を利用して作る（参照作成）	105
すでに作ってある外字を修正する	105
外字を使う	105
登録した外字を削除する	106
よく使う語句を辞書に登録する（ユーザー辞書）	106
語句を登録する	106
登録した語句を修正する	107
登録した語句を削除する	107

設定編 109

設定を変える	109
設定できる項目	109
ブザー音を消したい	109
画面の明るさを変えたい	109
印刷の濃さを変えたい	110
日付、時刻を設定する	110
サンプルデータを印刷する（デモ印刷）	110

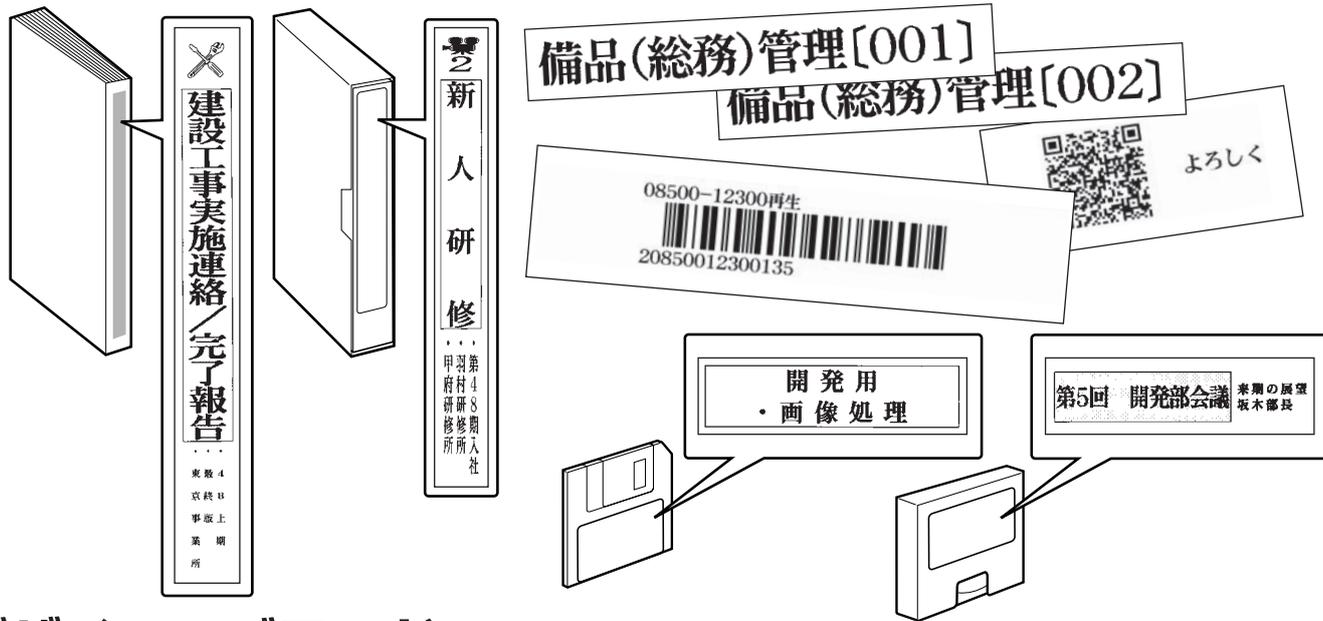
付録 113

電源について.....	113
乾電池で使う.....	113
お手入れの方法.....	114
綿棒できれいにする.....	114
クリーニングテープを使う.....	115
こんなときは（トラブルシューティング）.....	115
エラーメッセージ一覧.....	118
ローマ字入力一覧.....	122
記号・絵文字一覧.....	125
フレーム一覧.....	128
用途別ラベルフォーマット一覧.....	129
ナンバリングフォーマット一覧.....	132
テープ幅と行数・倍率一覧.....	132
各機能における使用可能テープ幅一覧.....	133
拡大印刷時のテープ幅と文字の大きさ.....	133
デザインロゴ内蔵データ一覧.....	134
内蔵漢字一覧.....	136
仕様.....	141
別売品一覧.....	143
索引.....	145
保証・アフターサービスについて.....	148

こんなことができます

KL-M30 だけで簡単に印刷ができます。

ビデオカセットや名前などの定番ラベルから、お好みのレイアウトで作成することができるラベルまで、さまざまな印刷ができます。



デザインロゴモード

オフィスなどの職場、工事や建設などの現場、病院などでよく使う表現を選ぶだけで、イラストや文字の入ったアテンション効果に優れたラベルを作ることができます。デザインロゴは、インターネットのダウンロードサイトからパソコン経由で本機に転送することもできます。



喫煙所
SMOKING AREA

各部の名前とはたらき



USB コネクター

パソコンと接続するときに、USBケーブルを接続します。

持ち運び用ハンドル

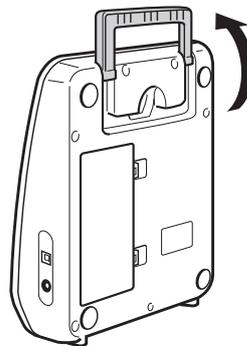
AC アダプター 接続用端子

付属の AC アダプターを接続します。

乾電池カバー

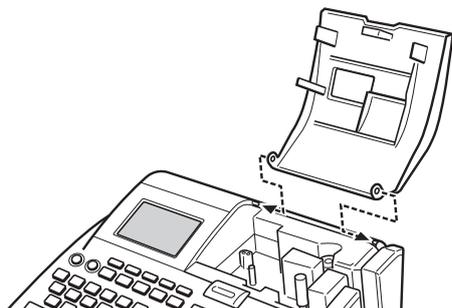
■持ち運ぶときは

本機を持ち運ぶときは、図のように持ち運び用ハンドルを引き上げてお使いください。



■テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったら

テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったときは、図のようにセットしてください。カバーを無理な方向に曲げたりねじったりすると、突起や穴が破損する恐れがありますのでご注意ください。



本機を使う前の準備

操作の流れ

ACアダプターの接続

15 ページ

または乾電池のセット

113 ページ

- 購入後、はじめて使うときはメモリーの初期化、日時の設定をしてください。(17 ページ)
- メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要のないときはメモリーの初期化はしないでください。



テープカートリッジの取り付け

20 ページ



自由に入力して作る

フリーラベル 25、36 ページ
フリーラベルの編集機能
36 ページ



用途に応じて作る

用途別ラベル
バーコードラベル、デザインロ
ゴなど 30、54、69 ページ



印刷する

25 ページ



電源について

本機を使うときは、電源として付属の AC アダプターまたは市販のアルカリ乾電池を使います。

・市販の乾電池のセットについては、113 ページをご覧ください。

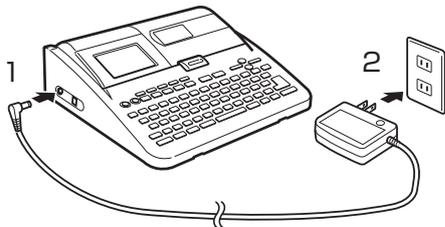
AC アダプターで使う

■取り付ける

- 重要**  ・付属の AC アダプター以外は使用しないでください。
・パソコンと接続する場合は、ソフトをインストールした後、USB ケーブルと AC アダプターを接続してください。詳しくは、別紙「はじめにお読みください」の「ソフトとプリンタードライバーをインストールする」「パソコンと接続する」をご覧ください。

1 AC アダプターのプラグを、本機の AC アダプター接続用端子に差し込みます。

2 AC アダプターをご家庭のコンセント < AC100V > に差し込みます。

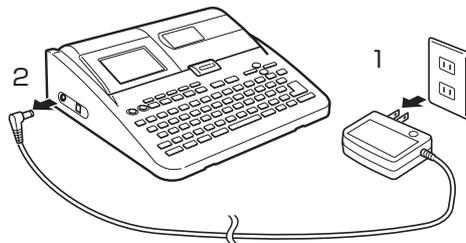


■取り外す

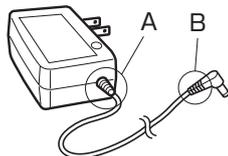
- 重要**  ・印刷中に AC アダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
・電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、AC アダプターや乾電池 (113 ページ) を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、外字、コピーした文章、設定された内容が消去されてしまいます。
・「AC アダプターから電池に切り替えるとき」「電池から AC アダプターに切り替えるとき」は、必ず、一度電源を切ってください。電源が入っているときに切り替えをすると、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。
・USB ケーブルを接続している場合は、AC アダプターを取り外す前にパソコンと本機から USB ケーブルを抜き取ってください。

1 コンセントから AC アダプターのプラグを抜きます。

2 本機の AC アダプター接続用端子から AC アダプターのプラグを抜きます。



重要 電源コードの両端部分（図の A および B）は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。



⚠ 警告

AC アダプターについて

AC アダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

- ❗ 必ず付属品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz) のコンセントを使用する
- ⊘ 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしてはいけない

AC アダプター／USB ケーブルについて

電源コード／USB ケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

- ⊘ 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない
- ❗ 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご連絡する

AC アダプター／USB ケーブルについて

- ⊘ 濡れた手で電源コード／USB ケーブルやプラグに触れないでください。

感電の原因となります。

- AC アダプター／USB ケーブルは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- AC アダプター／USB ケーブルの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

AC アダプター / USB ケーブルについて

AC アダプター / USB ケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ❌ ストープ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コード / USB ケーブルを引っ張らない(必ず AC アダプター本体 / USB ケーブルのプラグを持って抜く)
- ❗ ● AC アダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- USB ケーブルのプラグはコネクターの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときは AC アダプター / USB ケーブルのプラグをコンセント / コネクタから抜く
- ご使用後は電源スイッチを切り、AC アダプターのプラグをコンセントから抜く
- 電源コードのプラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
- AC アダプター (特にプラグやジャック部分) の清掃には、洗剤を使用しない

記憶したデータの保持について

- 電源が入っているときは AC アダプターや乾電池 (113 ページ) を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録された文章、外字、コピーした文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 本機に登録したデータ (文字や文章など) は、ノートやパソコンなどに控えを取っておいてください。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を!

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ずメモリーの初期化という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

重要 メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、必要のないときはメモリーの初期化をしないでください。

- 1** 電源が切れていることを確認します。
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、**OFF** を押します。
- 2** **印刷**と**空白**をいっしょに押しながら、**ON**を押します。
印刷と**空白**をいっしょに押し続けたまま、**ON**から指を離します。
「メモリー初期化 実行/取消し」が表示されます。
- 3** **実行**を押します。
- 4** **上****下**を押して、現在の日付や時刻の設定をします。
左**右**で設定したい項目を選択することができます。

- **下**を押すと数字が減り、**上**を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。



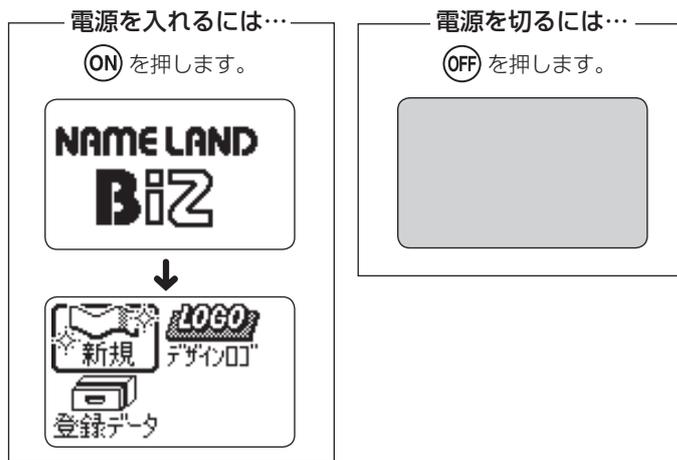
5 設定が終了したら[実行]を押します。

日付、時刻の設定は、後から変更することもできます。
日付、時刻の設定については、110ページの「日付、時刻を設定する」をご覧ください。

メモリーとは
本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。
「メモリーの初期化」とは
本機が正常な動作をするために、電気的な設定をすることです。「メモリーの初期化」をすると、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。
また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。
ただし、本機にインストールされたデザインロゴのデータはメモリーの初期化をしても消えません。

電源を入れる・切る

一度「メモリーの初期化」をしたら、次からは[ON]を押すだけで本機を使うことができます。



• 画面の明るさを調整するときは、109ページをご覧ください。

オートパワーオフ（節電）機能について

何も操作をしないで、約6分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これをオートパワーオフ機能といいます。

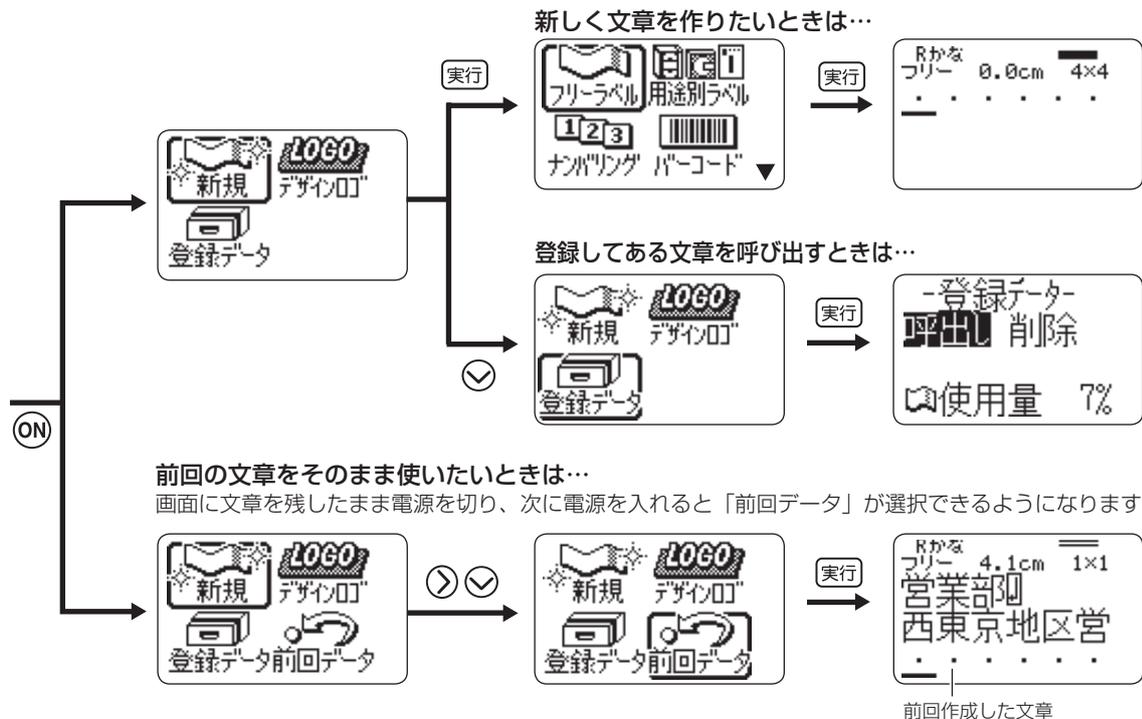
再び本機を使うときは、[ON]を押してください。

- ACアダプターを使用して、伝言板（60ページ）を表示しているときは、オートパワーオフ機能ははたらきません。
- ACアダプターを使用して、パソコンと接続しているときには、オートパワーオフ機能ははたらきません。

印刷する文章の作り方について

本機では、文章の作り方について、次の3つがあります。

- 新しく文章を作る
- 登録してある文章を呼び出して作る
- 電源を切る前に入力していた文章（前回の文章）を呼び出して作る



- 電源を入れた直後の画面で「前回データ」以外を選択したときや、デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータは、登録してから上記の操作をしてください。（データの登録→66ページ）

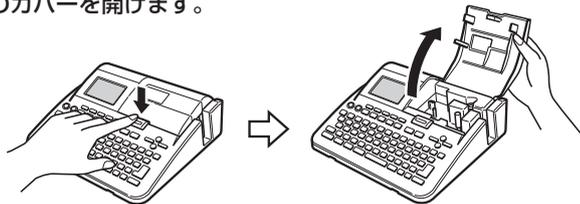
テープカートリッジを取り付ける / 取り外す

ラベルを印刷するときには、テープカートリッジが必要です。
付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。(別売品一
覧→143ページ)

テープカートリッジを取り付ける

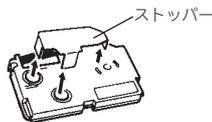
1 **OFF** を押して、電源を切ります。

2 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部
のカバーを開けます。



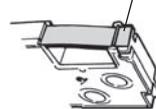
重要 カバーの開閉時には、「可動範囲以上に動かそうとする」な
どの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を
加えると、故障や破損の原因となります。

3 テープカートリッジについているストッパーを取り外します。



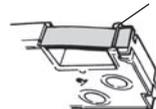
4 テープの先が折れ曲がっていないことを確認します。
テープの先が折れ曲がっていたら、ハサミで曲がった部分を切っ
てください。

テープの先が曲がっていない

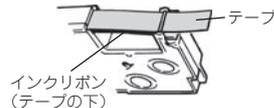


5 テープがテープガイドにきちんと通っているか確認します。
テープガイドから外れているときは、イラストのようにラベルの
先をテープガイドに通してください。

テープガイド



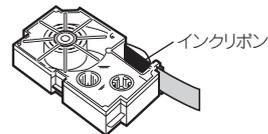
6 テープを約 3cm 引き出します。



重要

- 一度引き出したテープを戻すことはできません。
- 無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、
故障の原因になります。

7 インクリボンがたるんでいないか、確認します。

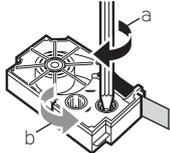


重要 ツ 重要 ツ インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

インクリボンがたるんでいたら、たるみを取ります

インクリボンがたるんでいたら、aのように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。bの方向に左下の軸が回り始めるまで右上の軸を回してください。

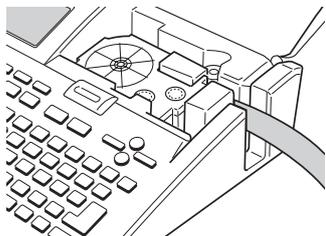
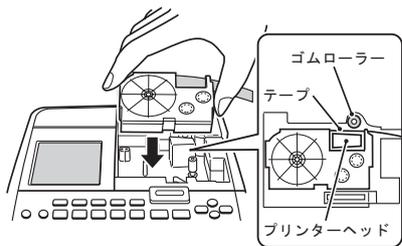
このとき、テープはいっしょに動きません。



8 テープカートリッジをセットします。

インクリボンが引っかからないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます（下図）。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

重要 ツ 重要 ツ 正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。



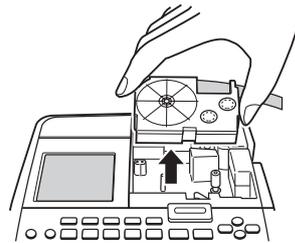
9 テープカートリッジ収納部のカバーを閉めます。



- カバーは、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
- テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

テープカートリッジを取り外す

- 1 (OFF) を押して電源を切ります。
- 2 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。
- 3 テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。



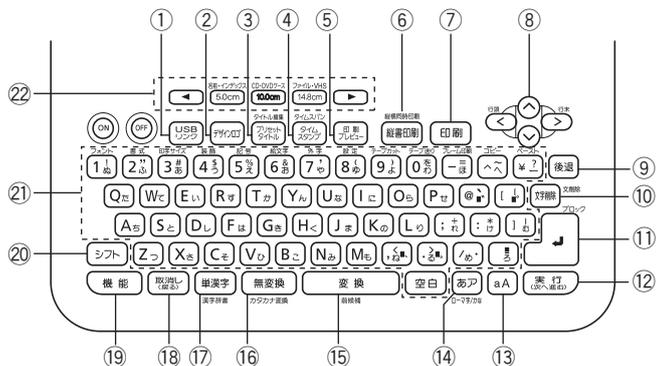
- 当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収 / 分解し、再資源化しております。使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店まで持ちください。

キーのはたらき

ここではキーの主な使い方について説明します。

準備編

キーのはたらき



- 電源を入れたときやキー操作を間違ったときに鳴るブザー音を消したいときは、109ページをご覧ください。

①		パソコンで作成したデータを本機で印刷するときに押す。
②		デザインロゴを印刷するとき、パソコンからデザインロゴデータをインストールするときに押す。 「ラベル印刷」をしているときに を押し、「デザインロゴ」モードに切り替わる。
③		<ul style="list-style-type: none"> よく使う登録した単語や文章を呼び出して使うときに押す。 よく使う単語や文章を登録、編集するときは、 を押し、指を離してからこのキーを押す。
④		<ul style="list-style-type: none"> 日付、時刻を入力中の文章に挿入するときに押す。 保存期間、有効期限などの将来の日付、時刻を入力中の文章に挿入するときは、 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑤		印刷結果を画面で見るときに押す。
⑥		縦書き印刷をするときに押す。 縦横同時印刷をするときは、 を押し、指を離してからこのキーを押す。 フリーラベル以外では使用できません。
⑦		印刷するときに押す。
⑧		<ul style="list-style-type: none"> 文字が入る位置を示した 、文字編集などのときに範囲を指定する を動かすときに押す。 項目などを選択するときに押す。
⑨		カーソルの前の文字を消すときに押す。
⑩		カーソルの上の文字を消すときに押す。 入力中の項目の文章をすべて消すときは、 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑪		<ul style="list-style-type: none"> 改行するときに押す。 文章をブロックに分けるときは、 を押し、指を離してからこのキーを押す。(37ページ)
⑫		操作を進めるときに押す。
⑬		アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す。(76ページ)

14	あア ローマ字かな	ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す。 (77 ページ) • ローマ字入力とかな入力を切り換えるときは、 機能 を押 し、指を離してからこのキーを押す。
15	変換 前候補	ひらがなを漢字などに変換するときを押す。 • 1つ前の変換に戻るとき(前候補)は、 機能 を押し、指 を離してからこのキーを押す。
16	無変換 カタカナ変換	漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときを押す。 • 入力中のひらがなをカタカナに変換するとき、 機能 を 押し、指を離してからこのキーを押す。
17	単漢字 漢字辞書	1文字ずつ漢字に変換するときを押す。 • 漢字辞書を使って漢字を入力するには、 機能 を押し、指 を離してからこのキーを押す。(81 ページ)
18	取消し	操作を戻したり、中止したりするときを押す。
19	機能	キーの上下または横に 機能 と同じ色で書かれている機能 を使いたいときは、まずこのキーを押す。
20	シフト	• かな入力するとき、「っ」や「ょ」などの促音・拗音を入れ る場合に押す。(78 ページ) • アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字(ま たは小文字)を入れる場合に押す。(85 ページ)
21	(文字キー)	文字を入れるときに押す。
22	(テープ 長さキー)	フリーラベルで長さを設定するときを押す。 • フリーラベル以外では使用できません。



機能と**シフト**の操作には、以下の2つの方法があります。

1. **機能** (**シフト**) を押し、指を離してから目的のキーを押す。
2. **機能** (**シフト**) を押しながら目的のキーを押す。
• 本書の操作説明は、「**機能** (**シフト**) を押し、指を離してから目的のキーを押す」で記載しています。

キーの表記について

- 本文中では、操作手順の中で使うキー(ボタン)を **1**_あ や **実行** などのように表記しています。

例 **1**_あ を押したあとに続けて **実行** を押すときの表記



- 本機のキーの上下または横に **機能** と同じ色で書かれている機能(「設定」や「カタカナ変換」など)を使うには、**機能** を押し、指を離してから **機能** と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

例 「設定」機能を使うときの表記



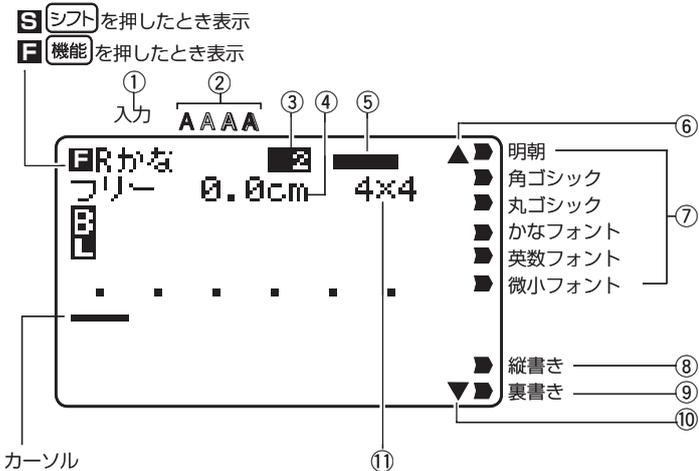
- 操作手順の中で、「**⏪** **⏩** **⏴** **⏵** を押して…」 「**⏪** **⏩** を押して…」 「**⏴** **⏵** を押して…」 と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4つまたは2つのキーすべてを押す必要はありません。

- 1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは **取消し** を押します。
- **取消し** を何回押しても希望の画面に戻らないときは、**OFF** を押して一度電源を切ります。**ON** を押して再び電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

画面について

本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

- 画面の明るさを変えるときは、109ページをご覧ください。



①	入力できる文字の種類を示す。(76 ページ)
②	文字体が何になっているか示す。(95 ページ)
③	カーソルがあるブロックは何個目かを示す。(38 ページ)
④	いま作っているラベルの長さを示す。(44 ページ)
⑤	フリーラベルを選択したときのレイアウトを示す。(37 ページ)
⑥	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す。
⑦	書体 (フォント) が何になっているかを示す。(93 ページ)
⑧	縦書きになっていることを示す。(38 ページ)
⑨	裏書きになっていることを示す。(40 ページ)
⑩	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す。
⑪	文字のサイズを示す。(48 ページ)

まずは作ってみましょう

準備ができたら、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。

ラベルを印刷する

[印刷例]

営業レポート

1 **ON** を押して、電源を入れます。

- 右の画面の代わりに「前回データ」を含む画面が表示されることがあります。(19ページ)

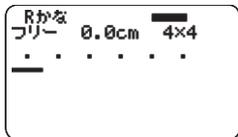


2 **←** **↓** **→** **↑** を押して「新規」にし、**実行** を押します。



3 **←** **↓** **→** **↑** を押して作りたいラベルの種類を選び、**実行** を押します。

ここでは「フリーラベル」を選びます。

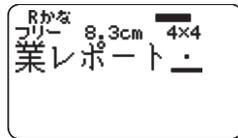


4 文字を入力します。

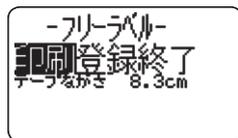
ここでは「営業レポート」と入力します。

- 文字の入力方法については、28ページをご覧ください。

続いて、ラベルを印刷します。



5 **実行** を押します。



■印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。テープカートリッジをセットしていないと、印刷結果を画面で確認することはできません。

1 **印刷プレビュー** を押します。

どのように印刷されるのか、そのイメージが画面に流れます



2 じっくりと見たい部分が流れてきたら、**実行** を押します。

その部分が止まります



実行 を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- プレビュー表示を中止するときは **取消し** を押します。
- 細い線のある文字や字画の多い漢字は正しくプレビュー表示されないことがあります。

■印刷する

作成したラベルは簡単に印刷できます。複数枚を連続して印刷することもできます。また、テープをカットする方法も選ぶことができます。

重要  印刷する前に、テープ出口（12ページ）が物などでふさがっていないことを確認してください。

・テープカートリッジがセットされていることを確認してください（20ページ）。

1 **印刷** になっていることを確認して、**実行**を押します。

2   を押して、印刷する枚数を指定します。
ここでは「1枚」にします。

- ・  を押すと数字が減り、 を押すと数字が増えます。
- ・ 数字を直接入力することもできます。一度に、100枚まで指定できます。0枚を指定することはできません。

3  を押します。

4 **カットモード**を指定します。

- ・ ラベル間の台紙を切らずに印刷するときは、「通常」を指定します。
- ・ ラベルごとに切り離すときは、「切り離す」を指定します。
- ・ 布転写テープ・インスタントレタリングテープをセットしているときは、「特殊テープ」を指定します。
- ・ 反射テープ・マグネットテープ・アイロン布テープをセットしているときは、「カットしない」を指定します。

ここでは「通常」にします。

カットモードについて詳しくは、62ページをご覧ください。

5 **実行**を押します。
印刷が始まります。

- ・ 印刷を途中でやめるときは、**取消し**を押します。

重要 

- ・ 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- ・ 印刷中に、テープカートリッジ収納部のカバーを絶対に開けないでください。（テープカートリッジ収納部のカバー → 12ページ）
- ・ 印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」まで触らないでください。
- ・ 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、**取消し**を押して印刷を中止してください。
- ・ テープ出口の周りに、カットされたラベルがたまらないようにしてください。カットされたラベルがテープ出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。

注意

オートテープカッターに注意する

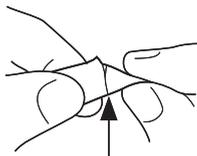
-  電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れないでください。オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。

ラベルを貼る

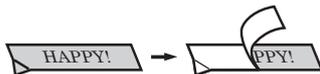
1 必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・形にします。

2 ラベルの裏をはがして、貼ります。

- ハーフカット部分からはがすとき
ハーフカット部分をゆっく
りとひねるようにして、テー
プを台紙からはがします。



- フルカットされたラベルをはがすとき
ラベルの角を折り曲げると、はがしやすくなります。



- ・一度貼ったラベルをはがすと、貼っていた場所にテープのノリが
残ることがあります。

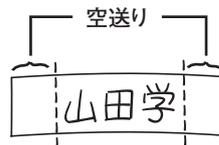
- 重要**  ・次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。
- ・直射日光や雨が当たるもの
 - ・人や動物の体
 - ・他人の家の塀や電柱など
 - ・公園・駅など、公共の場所
 - ・電子レンジで加熱に使う容器

ラベルが貼りにくいものは…

- ・表面がざらざらしているところ
- ・表面に水や油、ホコリなどが付いているところ
- ・特殊なプラスチック材料（シリコン系・PP 材など）

テープを送りすぎる

印刷する前や印刷した後に、テープを白紙で送ることができます（テー
プ送り）。



1  テープ送り
機能 **0** と押します。

↓
テープが約 21.5mm 送られます。

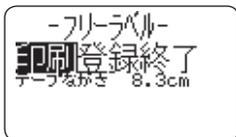
テープの余白を「送り無」にしたときは

テープの余白を「送り無」と設定したときは（42 ページ）、印刷が終わっ
ても自動的にテープはカットされません。次の手順に従って、テープ
をカットしてください。

1  テープカット
機能 **9** と押して、テープをカットします。

- 重要**  テープをカットするときは、本機を傾けないでください。
また、テープを引っばったり、カバーを開けたりしないでください。

終了する



- 1 上の画面が表示されているときに◀▶を押して**終了**にし、**実行**を2回押します。

以下の画面に戻ります。



- 「登録」については、66 ページをご覧ください。

文字の入力について

■「営業」を入力します。

ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。
ここでは、ローマ字入力を選びます。(76 ページ)

- 1 **あア**を何回か押して、画面左上に「R かな」を表示させます。
- 2 **Eい Iは Gき Yん Oら Uな**
- 3 **変換**を何回か押して、「営業」が画面に表示されたら**実行**を押します。

■「レポート」を入力します。

- 1 **あア**を何回か押して、画面左上に「R カナ」を表示させます。
- 2 **Rず Eい Pせ Oら ￥? Tか Oら**

- 誤った文字を入力したときは、**文字削除** (87 ページ) や **後退** (88 ページ) を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。
- 文字入力方法について、詳しくは「入力・編集編」(75 ページ) をご覧ください。

ラベル作成編

ラベル作成の流れ

ラベルを印刷するときは、以下の手順で操作してください。

ACアダプターの接続

15 ページ

または乾電池のセット

113 ページ

・購入後、はじめてお使いのときは、メモリーの初期化、日時の設定をしてください(17 ページ)。メモリーの初期化をすると本機に記憶されたデータや日時設定が消去されます。必要のないときはメモリーの初期化はしないでください。

テープカートリッジの 取り付け

20 ページ

自由に入力して作る

フリーラベル

36 ページ

フリーラベルの編集機能

36 ページ

用途に応じて作る

用途別ラベル

バーコードラベルなど

30、54 ページ

操作の流れ

1 ラベルの種類を選ぶ

フリーラベル..... 36 ページ
用途別ラベル..... 30 ページ
ナンバリング..... 32 ページ
バーコード..... 54 ページ
QRコード..... 57 ページ
拡大印刷..... 34 ページ

登録してある
データ呼び出
して使うときは
(66 ページ)

前回作成した
データを使う
ときは
(19 ページ)

2 文字を入力する (76 ページ)

3 文字を修飾する

書体 (フォント) を変える (91 ページ)、文字を目立たせる (文字体) (95 ページ)

ラベルを印刷 (26 ページ) ・登録 (66 ページ) ・終了する

用途に応じて作る

フォーマットを選んで作る (用途別ラベル)

本機には、豊富なラベルのフォーマットが内蔵されており、用途に応じたラベルが簡単に作れます。

ここで紹介するラベルは、本機で作成できるラベルの一例です。

用途別ラベル

オーディオラベル

送付ラベル

名前ラベル

ビデオラベル

ファイルラベル

建設工事実施連絡/完了報告

別れのウラル山脈編
再出機を心に誓うバスク編

愛と青春のワイシャツ

神奈川県小田原市999-0000 小田原観光マシソン705
江戸八百四十四株式会社
松平 藤吉郎信長様

社員番号7566
江戸 綾華
30%OFF商品!!!
本体価格 ¥1,886

値札ラベル

登録データ

新規 デザイン01

フリーラベル 用途別ラベル

1 2 3 ナボリタグ バーコード

用途別ラベル

オーディオ
名前
送付
ファイル
値札

• ビデオラベル・オーディオラベル・名前ラベル・送付ラベル・ファイルラベル・値札ラベルがあります。用途に応じて選択してください。

【印刷例】



(18mm 幅テープ / ファイル / ファイル背 / 大3)

重要 129ページをご覧ください。フォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。

フォーマットを選ぶ

1 **ON** を押して、電源を入れます。

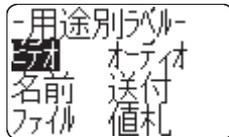
• ご使用の状況によっては、右の画面の代わりに「前回データ」を含む画面が表示されます (19ページ)。



2 **↑ ↓ ← →** を押して「新規」を選び、**実行** を押します。



3 **↑ ↓ ← →** を押して「用途別ラベル」を選び、**実行** を押します。



4 を押して作成するラベルの種類を選び、**実行**を押します。

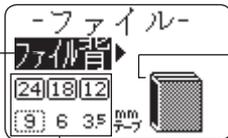
ここでは「ファイル」を選びます。
フォーマット選択画面が表示されます。



フォーマット選択画面について

ここでは、例として、「ファイル背」の画面を説明します。

ラベルの種類を示します。



ラベルを貼る位置を示します。

対応するテープ幅を示します。

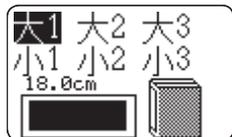
... 使用できるテープ幅は、実線または点線で囲まれます。

... 最も適したテープ幅は、実線で囲まれます。

6 ... 使用できないテープ幅は、囲まれません。

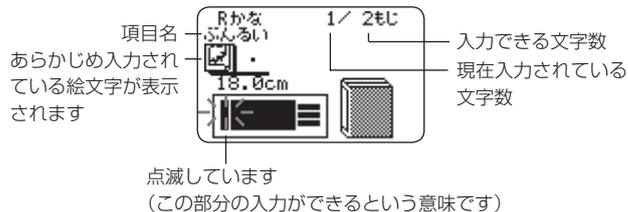
5 を押して、「ファイル」ラベルの種類を選び、**実行**を押します。

ここでは「ファイル背」を選びます。



6 を押してフォーマットを選び、**実行**を押します。

詳しくは「用途別ラベルフォーマット一覧」（129 ページ）をご覧ください。
ここでは「大3」を選びます。
文字入力画面が表示されます。



7 画面の絵文字を必要に応じて変更し、**実行**を押します。

- 選んだフォーマットの種類や項目によって、絵文字が入力されていたり、入力されていなかったりします。
- 他の絵文字に変えるときは、87 ページをご覧ください。



8 文字を入力し、**実行**を押します。

ここでは「タイトル」「コメント1」「コメント2」「コメント3」に入力します。

- 枠が付けられるフォーマットの場合は、**機能**を押し指を離してから**4**を押して「装飾」の「文字修飾」に入って、枠付「あり/なし」のどちらかを選ぶことができます。

これでラベルデータが完成しました。



- ラベルデータを印刷するときは→ 26 ページ
- ラベルデータを登録するときは→ 66 ページ

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き/縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する/しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に**機能**を押し、指を離してから**2**を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

通し番号のついたラベルを作る (ナンバリング)

ページ番号や通し番号がついたラベルを作る (連番印刷) ことができます。

重要 3.5mm 幅のテープカートリッジは使用できません。



ナンバリングの種類

• フォーマット 1



ナンバー

• フォーマット 3



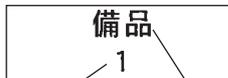
ナンバー コメント (99 文字まで)

• フォーマット 4



コメント 1 (99 文字まで) ナンバー コメント 2 (99 文字まで)

• フォーマット 5



ナンバー コメント (99 文字まで)

• フォーマット 6



ナンバー コメント (99 文字まで)

- 印刷するたびに、“ナンバー” が一つずつ繰り上がっていきます。

[印刷例]

備品No.15(総務管理)

備品No.16(総務管理)

備品No.17(総務管理)

「備品 No.15 (総務管理)」～「備品 No.17 (総務管理)」のラベルを印刷します。

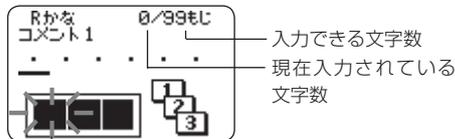
重要 ナンバリング印刷では、指定枚数分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、**取消し**を押して印刷を中止してください。

1 **ON**を押して、電源を入れます。

2 **上****下****左****右**を押して「新規」を選び、**実行**を押します。

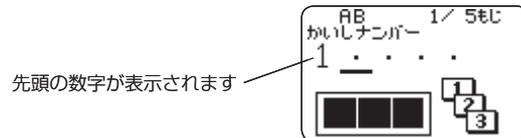
3 **上****下****左****右**を押して「ナンバリング」を選び、**実行**を押します。

4 **上****下****左****右**を押してフォーマットを選び、**実行**を押します。ここでは「4」を選びます。



点滅しています
(この部分の入力ができるという意味です)

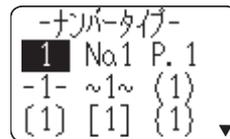
5 「コメント1」の文字を入力し、**実行**を押します。ここでは「備品」と入力します。



6 ナンバリングの先頭になる数字に変更し、**実行**を押します。ここでは、「No.15」～「No.17」のラベルを作るので、「15」を入力します。

・先頭になる数字を変更するときは、数字を削除して入力し直してください。5桁まで入力できます。

7 「コメント2」の文字を入力し、**実行**を押します。ここでは「(総務管理)」と入力します。



8 **上****下****左****右**を押してナンバリングの形を選び、**実行**を押します。ここでは「No.1」を選びます。

9 **左****右**で**印刷**を選び、**実行**を押します。



10 ⏪ ⏩ を押して連番として印刷する枚数を設定し、連番の開始と終了の番号を確認してから **実行** を押します。

ここでは、15、16、17番を印刷するので、「3」を設定します。

- ・1～100までを入力できます。
- ・直接数字を入力することもできます。

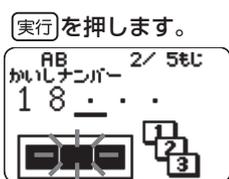


11 ⏪ ⏩ を押してカットモードを設定し、**実行** を押します。

- ・カットモードについて詳しくは、62ページをご覧ください。

印刷が開始されます。終了すると、右の画面が表示されます。

- ・ナンバー「99999」の次は、「00000」が印刷されます。
- ・「長さオーバー 印刷できません」「長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか?」と表示されたときは、120ページをご覧ください。



表示される番号は、作成するラベルによって異なります。

- 重要**  ・テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。
- ・ラベルデータを登録するときは→66ページ

印刷の書式を設定したい

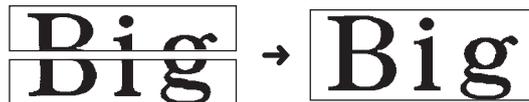
文字の入力中にお好みで印刷の書式を設定することができます。

- ・印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- ・「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する
- ・「余白」の設定をする

上記の設定をするには、文字入力中に **機能** を押し、指を離してから **2** を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

大きなラベルを作る(拡大印刷)

本機では、24mm幅のテープまで使用できますが、それよりも大きなラベルも作ることができます。文字を何枚かのテープに分けて印刷し、それを並べて貼って、1枚のラベルにします。



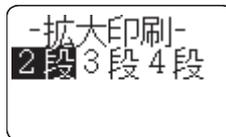
文字を2枚のテープに分けて印刷

2枚を並べて貼ると、1枚のラベルが完成

重要  12mm幅以上のテープカートリッジをセットしてください。

【印刷例】 Big (12mm幅テープ/2段)

- 1 **ON** を押して、電源を入れます。
- 2 **↑** **↓** **⏪** **⏩** を押して「新規」を選び、**実行** を押します。
- 3 **↑** **↓** **⏪** **⏩** を押して「拡大印刷」を選び、**実行** を押します。
- 4 文字を入力し、**実行** を押します。



5 ◀▶を押して拡大する文字の大きさを設定し、[実行]を押します。

2段とは、「2枚のテープに分けて印刷する」という意味です。

ここでは「2段」を選びます。

テープ幅	文字の大きさ		
	2段	3段	4段
12mm	24mm	36mm	48mm
18mm	30mm	45mm	60mm
24mm	30mm	45mm	60mm

6 ◀▶で[印刷]を選び、[実行]を押します。



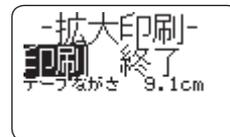
7 ◀▶を押して何段目を印刷するかを設定し、[✓]を押します。ここでは「全部」を選びます。

8 ◀▶を押してカットモードを設定し、[実行]を押します。印刷が始まります。

- カットモードについて (62 ページ)
- 文字数の多い大きなラベルを印刷する場合、1本のテープですべての段を印刷できない場合があります。テープの残量を確認しながら1段ずつ印刷することをおすすめします。印刷の途中でテープが終了した場合は、[取消し]を押して印刷を終了し、テープを交換した後、再度、印刷操作をしてください。
- 黒い部分の多い文字を印刷したり、連続して印刷すると、プリンターが熱くなり過ぎるのを防止するため「印刷準備中」の表示になって、印刷を一時停止することがあります。プリンターが正常な温度に戻ると自動的に印刷を再開しますので、そのまましばらくお待ちください。

- 「印刷準備中」の表示になり、頻繁に印刷が停止する場合は印刷濃度を低く設定してください。

2段目の印刷が終わったら、この画面になります。



テープを2段並べて貼ります

- 18mm 幅テープ、24mm 幅テープに印刷すると、テープの上下に余白ができます。余白部分をカットしてから並べて貼ってください。18mm 幅テープ、24mm 幅テープに印刷するときは、余白部分を重ねて貼ることができる「透明テープ」をお使いになることをおすすめします。

印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
 - 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する
- 上記の設定をするには、文字入力中に[機能]を押し、指を離してから^{書式}[2/3]を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

自由に入力して作る (フリーラベル)

ここでは自由に入力してラベルを作る (フリーラベル) 方法について説明します。

フリーラベルを作る

操作を簡単に説明しますと、以下のようになります。

- 1 **ON** を押して、電源を入れます。
- 2 **↑** **↓** **←** **→** を押して「新規」にし、**実行** を押します。
- 3 **↑** **↓** **←** **→** を押して「フリーラベル」を選び、**実行** を押します。
- 4 自由に文字を入力します。
・フリーラベルの作り方について詳しくは 25 ページをご覧ください。

2 行以上のラベルを作る

2 行以上の文章を含むラベルを作ることができます。
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

重要 3.5mm 幅テープでは、2 行以上のラベルは作れません。



テープの幅	最大行数
3.5mm	1 行
6mm	2 行
9mm	3 行

テープの幅	最大行数
12mm	5 行
18mm	8 行
24mm	8 行

- ・テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。
(ジャストフィット印刷)
- ・文字の大きさを自由に決めた場合 (48 ページ) も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

[印刷例] 顧客リスト
最新版

- 1 1 行目を入力します。
ここでは「顧客リスト」と入力します。
- 2 **←** を押します。

3 2行目を入力します。

ここでは「最新版」と入力します。

文字の大きさが行数に合せて自動的に変わります。

改行マークが入ります
(画面だけの印なので印刷されません)



作っているラベルのレイアウト (イメージャー表示) 線の数は行数を表わし、線の太さは文字の大きさをイメージで表します。

- 文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、**[↵]** を押します。
- 改行を取り消すときは、**[文字削除]** を押してマークを削除します。**[後退]** を押しても **[□]** マークを削除することはできません。
- イメージャー表示は、微小フォントでの印刷のときは「5/8」というような表示になります。これは、「行数は8行で、カーソルが合っているのは5行目」という意味です。微小フォントでの印刷について→94ページ。
- セットされているテープ幅に合わない行数にすると、「行数オーバー 印刷できません」と表示され、印刷することはできません。そのときは行数を減らしてください。
- ラベルデータを印刷するときは→26ページ
- ラベルデータを登録するときは→66ページ

こんなラベルを作るには？

ジャストフィット印刷 (36ページ)

顧客リスト
最新版

営業部

顧客リスト最新版
営業部

顧客リスト
最新版
営業部

顧客リスト最新版
営業部

ブロックマークを入れます
(37ページ)

文字の大きさを行ごとに決めます
(50ページ)

文章をブロックに分ける

下の印刷例の「営業計画書」「国内営業部 営業第三課」は、それぞれ独立した文字のかたまりです。この文字のかたまりを**ブロック**といいます。ブロックごとに書式や行数を設定することができますので、いろいろなラベルを自由に作るすることができます。

【印刷例】

営業計画書 国内営業部
営業第三課

1つのブロック

1つのブロック

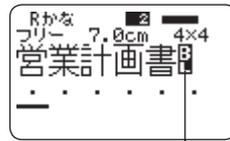
(18mm幅テープ)

- ・2行 (36ページ)
- ・縦書き (38ページ)

【印刷例】 「営業計画書」「国内営業部 営業第三課」を別々のブロックに分ける

1 最初のブロックの文字を入力します。
ここでは「営業計画書」と入力します。

2 **[機能]** を押し、指を離してから **[↵]** を押します。
「営業計画書」が1つのブロックになります。



ブロックマーク
(画面だけの印なので印刷されません)

- 3 次のブロックの文字を入力します。
ここでは「国内営業部」と入力します。

カーソルの位置が何ブロック目にあるかを表します



- ブロックマークを消すときは、「**Ⓜ**」の位置にカーソルを合わせ、**文字削除**を押します。
後退を押しても**Ⓜ**マークを削除することはできません。
- ブロックに分けることができるのは、16個までです。

- 4 続けて文字を入力します。
ここでは**⏪**「営業第三課」と入力します。

- 2行のラベルについては36ページをご覧ください。
- 縦書きの設定については38ページをご覧ください。

文章を完成させたあとでブロックに分けるには文字を入力したあとで、ブロックに分けることもできます。分けてい位置にカーソルを移動させ、**機能**を押し、指を離してから**⏪**を押します。

ラベルの書式を決める

ラベルの長さ・文字間隔・文字のバランスなど、ラベルをどのようなルール（書式）で作るのかを決めます。

ブロックごとの書式を決めることもラベル全体の書式を決めることもできます。

ブロックごとに書式を決める

ブロック（37ページ）ごとに、印刷方向や文字のバランスなどを設定します。

■設定できる内容

ブロック書式では、次のような設定ができます。

方向	文字の向きを横書きにするか、縦書きにするかを決めます。 方向 縦
文字割付	ブロック中での文字のバランスを決めます。→47ページ参照
文字間隔	文字と文字のピッチ（間隔）を決めます。 文字間隔 文字間隔
ブロック長	ブロックの長さを決めます。→42ページ参照

■設定する

- 1 文章を入力し、ブロックに分けます。
- 2 書式を決めるブロックにカーソルを合わせます。
そのブロック内であれば、カーソルの位置はどこでも構いません。

3 **機能** を押し、指を離してから **2** を押します。
 ブロックが1つだけの場合には手順6に進んでください。このときは、ブロック書式と全文書式が続けて設定できます。

4 **↶** **↷** を押しして **ブロック書式** を選び、**実行** を押しします。

5 **↶** **↷** を押しして **このブロックのみ** を選び、**実行** を押しします。

- すべてのブロックを共通の書式にするときは **↶** **↷** を押しして **全ブロック** にします。

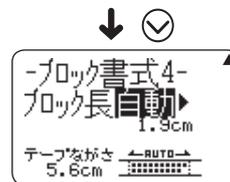
6 各項目を設定します。

- ↶** **↷** を押しして設定項目を選びます。
- ↶** **↷** を押しして希望の項目を表示させます。

設定項目	内容
方向	文字を縦書きにするか横書きにするかを選ぶ
文字割付	ブロックの中で文字のバランス(左寄せ/均等/中寄せ/右寄せ)を設定する → 46 ページ参照
文字間隔	文字と文字の間隔(0.0 ~ 31.9mm)を指定する ↶ ↷ を押すと間隔が変わり、それに合わせてテープ長さの数値も変わる) ・「文字割付」を「均等」、「ブロック長」を「こてい」とした場合は、文字間隔の指定はできません。



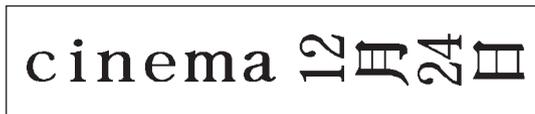
設定項目	内容
ブロック長	<ul style="list-style-type: none"> 自動：文字数に合わせて自動的にブロックの長さを調整する ブロックの長さを任意に設定するときは ↶ ↷ を押しして「固定」を選ぶ → 42 ページ参照



7 各項目を設定したら、**実行** を押しします。

こんなラベルを作るには…

[印刷例]



(18mm 幅テープ)



記号の「12」(グループ=数字) 記号の「24」(グループ=数字)

記号の入力について詳しくは、86 ページをご覧ください。

① 「12月24日」のブロックにカーソルを合わせる。

② **機能** を押し、指を離してから **2** を押しして、「ブロック書式」→「このブロックのみ」→「縦書き」とする。

印刷する

文章全体の書式を決める

文章全体の書式を決めます。

ブロックで区切られた文章であっても、ブロックには関係なく文章全体が対象になります。

■設定できる内容

文章全体の書式では、次のような設定ができます。

裏書き	<div data-bbox="284 311 469 378" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <h1>裏書き</h1> </div> <ul style="list-style-type: none"> 布転写テープカートリッジ（別売）を使用してハンカチやTシャツなどにアイロンプリントするときに設定します。 アイロン布テープ（別売）を使用してアイロンプリントするときには、裏書きの設定は必要ありません。 テープ色が透明なテープカートリッジ（別売）を使用してガラスなど透明なものに裏から貼るときに設定します。
斜め	<p>文字を斜めに印刷するときを選びます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="284 703 528 807"> <p>しない</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <h2>斜め</h2> </div> </div> <div data-bbox="534 703 745 807"> <p>する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <h2>斜め</h2> </div> </div> </div>
プロポーショナル	<p>プロポーショナルとはアルファベット・数字に適した文字間隔のことです。アルファベット・数字が入った文章のときは「プロポーショナル ON」にすると、より美しく仕上がります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="284 949 472 1028"> <p>ON</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <h2>CASIO</h2> </div> </div> <div data-bbox="523 949 745 1028"> <p>OFF</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <h2>CASIO</h2> </div> </div> </div>

スモージング	<p>印字の不自然なギザギザを美しく滑らかにする(ON) かしない(OFF) かを選びます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1031 132 1222 247"> <p>ON</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  </div> </div> <div data-bbox="1289 132 1481 247"> <p>OFF</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  </div> </div> </div>
ブロック間隔	<p>ブロックとブロックの間隔を選びます。</p> <p>密着</p> <div data-bbox="1117 320 1372 387" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>顧客リスト 最新版</p> <h2>営業部</h2> </div> <p>普通</p> <div data-bbox="1117 409 1372 477" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>顧客リスト 最新版</p> <h2>営業部</h2> </div> <p>広い</p> <div data-bbox="1117 499 1372 566" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>顧客リスト 最新版</p> <h2>営業部</h2> </div>
余白	<p>ラベルの前後に付くスペースの長さを選びます。 →42 ページ参照</p>
テープ長	<p>ラベル全体の長さを自由に決めます。 →44 ページ参照</p>
ブロック割付	<p>ラベル全体におけるブロックのバランスを決めます。 →47 ページ参照</p>

■設定する

1 文字を入力します。

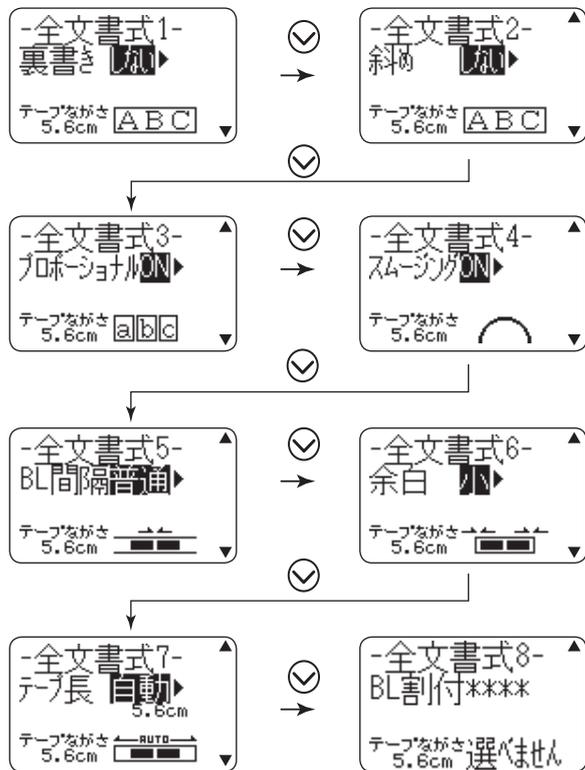
2 機能 を押し、指を離してから 2 を押します。
ブロックが1つだけの場合には手順4に進んでください。ブロック書式と全文書式が続けて設定できます。

3 (⬆)(⬇)を押して**全文書式**を選び、**実行**を押します。

4 各項目を設定します。

- (⬆)(⬇)を押して設定項目を選びます。
- (⬅)(➡)を押して希望の項目を表示させます。

設定項目	内容
裏書き	文字を裏書きで印刷するかしないかを選ぶ。裏書きにしないときは「しない」を選ぶ
斜め	文字を斜めに印刷するときは「する」を、斜めに印刷しないときは「しない」を選ぶ
プロポーショナル	ON : アルファベット・数字に適した文字ピッチに調整する OFF : アルファベット・数字の文字ピッチが、かな・漢字まじりの文章に適した文字ピッチになる
スムージング	文字のラインを滑らかにするか、しないかを選ぶ
ブロック間隔	ブロックとブロックの間隔を選ぶ
余白	ラベルの前後に付くスペースの長さを選ぶ→42 ページ
テープ長	<ul style="list-style-type: none"> • 自動：文字数に合わせて自動的にラベルの長さを調節する • ラベル全体の長さを任意に設定するときは、(⬅)(➡)を押して「固定」を選ぶ→44 ページ
ブロック割付	ラベル全体に対するブロックの位置を選ぶ→47 ページ <ul style="list-style-type: none"> • テープ長さを「固定」にしたときのみ有効 (左寄せ / 均等 / 中寄せ / 右寄せ)



5 各項目を設定したら、**実行**を押します。

余白について

ラベルの前後に付くスペースを**余白**といいます。
次の3種類の余白を選べます。



重要 ヽ テープの長さが短い（余白小のとき：約 28mm、余白中のとき：約 35mm、余白大のとき：45mm）場合には、余白カットをしないことがあります。印刷が終わった後で、ハサミなどで余白をカットしてください。



- ・「送り無」と設定し、連続して印刷すると、ラベルとラベルを密着させて印刷することができます。
- ・「送り無」と設定したときは、テープは自動的にカットされません。テープをカットするときは、**機能** を押し、指を離してから **送り無** を押してください。先頭のラベル余白は、ハサミなどでカットしてください。

ラベルの長さを自由に決める

ラベルは文字の大きさや文字数に合わせて最適な長さで印刷されます。ここではラベルの長さを自由に設定する方法を説明します。

ラベルの長さを決める方法には、次の3つがあります。

- ブロックごとの長さを決めて、ラベルの長さを設定する（ブロック長固定）。
- ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）。
- CD・DVD・VHS用のラベルなど、よく作るラベルの長さを設定する（テープ長さキー）。

ブロックの長さを設定する（ブロック長固定）

ブロック（37ページ）の長さを決めることにより、ラベル全体の長さを決めることができます。

- 1 文字を入力し、ブロックに分けます。
 - ・ブロックの分け方（37ページ）
- 2 長さを決めるブロックにカーソルを移動します。そのブロック内であればカーソルの位置はどこでも構いません。
- 3 **機能** を押し、指を離してから **2** を押しします。ブロックが1つだけの場合には、手順6に進んでください。
- 4 **上** **下** を押して **ブロック書式** を選び、**実行** を押しします。

- 5 (▲) (▼) を押して **このブロックのみ** を選び、**実行** を押します。
- すべてのブロックを共通の書式にするときは (▲) (▼) を押して **全ブロック** にします。

- 6 (▲) (▼) を押して、「ブロック長」を画面に表示させます。



- 7 (◀) (▶) を押して、「ブロック長 **固定**」にします。

- 8 (▼) を押します。



- 9 数値キー、または (◀) (減)・(▶) (増) を押して、ブロックの長さを設定します。
- 直接数字を入力することもできます。
 - ブロックの長さを入力されている文字により、次のようになります。



[6.0cm]
↑
指定通りに印刷

営業部



(4.0cm)
↑
文字を横方向に縮めて指定通りに印刷

営業部



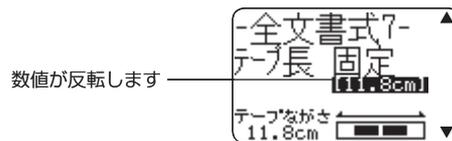
2.0cm
↑
指定した長さより長く印刷

営業部

- 10 **実行** を押します。

ラベル全体の長さを自由に設定する（テープ長固定）

- 1 文字を入力します。
- 2 **機能** を押し、指を離してから **2** を押し、^{表示}**2** を押しします。
ブロックが 1 つだけの場合には、手順 4 に進んでください。
- 3 **▲▼** を押して **全文書式** を選び、**実行** を押しします。
- 4 **▲▼** を押して、「テープ長」を画面に表示させます。
- 5 **◀▶** を押して、「テープ長 **固定**」にし **✓** を押しします。



- 6 数値キーまたは **◀** (減)・**▶** (増) を押して、ラベルの長さを設定し、**実行** を押しします。
 - ・直接数字を入力することもできます。
 - ・入力されている文字に合わない長さになると、「長さエラー」となり、次のような表示になります。



イメージャー表示について

「ブロック長**固定**」を選ぶと、画面右上のイメージャー表示は次のようになります。

指定通りの長さで印刷できる	指定通りの長さで印刷されるが、文字は横方向に縮まる	指定の長さより長く印刷される*

* 文字が印刷方向に 50%縮小されて印刷されます。また、印刷されたテープは指定より長くなります。

CD・DVD・VHS 用のラベルなどを簡単に設定する (テープ長さキー)

テープ長さキーを使えば、CD や DVD のケース、VHS ビデオテープ用のラベルなど、よく作成するラベルの長さを簡単に設定できます (ダイレクト設定)。また、同じ長さを簡単に設定できるので、長さのそろった複数のラベルも簡単に作成できます。

長さを設定
しないとき

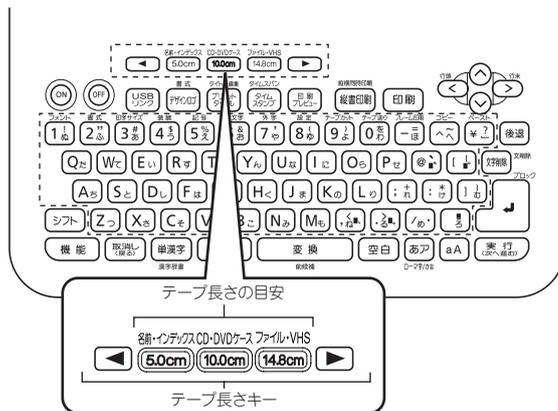


- 重要!**
- ブロックを使っているときは、ラベルの長さの設定は、書式の「テープ長」「ブロック長」でしてください。テープ長さキーで設定すると、設定した値よりも長くなることがあります。
 - テープ長さキーで設定した長さは、テープ長固定と連動します。また、テープ長さキーで設定すると、「ブロック長：固定」「文字割付：均等」「BL 割付：均等」に設定されます (ブロック長が固定されるのは、ブロックが 1 つのときだけです)。
 - フリーラベル以外では、テープ長さキーは無効となります。

設定できる長さ

テープ長さキー	適したもの
14.8cm	VHS ビデオテープの背ラベル・ペーパーファイル・バインダーなど
10.0cm	CD・DVD ケースなど
5.0cm	名前シール・インデックスなど

• 1mm 単位で長さを調整することもできます。



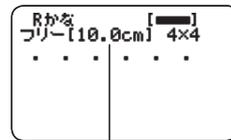
設定する

【例】 CD・DVD ケース用のラベルの長さを設定する

1 (10.0cm) を押します。

▶ を押すと長くなり、◀ を押すと短くなります。

• 文字入力時はラベルの長さを設定する前でも設定したあとでも構いません。



長さが 10.0cm に変わります。

文章のバランスを整える（割付）

文字や文章のバランスを整えることができます。

ブロック内で文字のバランスを整える

ブロック内での文字のバランスを選ぶことができます。

【例】 「下期」のバランスを整えます。

ブロック長を固定します

左寄せ	
中寄せ	
右寄せ	
均等	

1 文字を入力し、ブロックに分けます。

・ブロックの分け方（37ページ）

2 割付の対象になるブロックにカーソルを合わせ、**機能**を押し、指を離してから^{書式}**2**を押します。

ここでは「下期」にカーソルを合わせます。
ブロックが1つだけの場合には、手順5に進んでください。

3 **△**/**▽**を押して**ブロック書式**を選び、**実行**を押します。

4 **△**/**▽**を押して**このブロックのみ**を選び、**実行**を押します。

5 **△**/**▽**を押して「もじ割付」の設定画面にします。



6 **←**/**→**を押して、割付の種類を表示させます。

←/**→**を押すたびに、**均等** **中寄せ** **右寄せ** **左寄せ**と割付の種類が変わります。

7 **△**/**▽**を押して、「ブロック長」を画面に表示させます。

8 **←**/**→**を押して「ブロック長 **固定**」にし、**▽**を押します。

数値が反転します



9 数値キー、または**←**（減）・**→**（増）を押して、元のブロック長より長い数値にし、**実行**を押します。

2行以上の文章のときは、「ブロック長 自動」を選んで、割り付けすることができます。そのときは次のように文字数の少ない方が割付の対象になります。

左寄せ	中寄せ	右寄せ	均等

ラベル内のブロックのバランスを整える

ラベル全体に対しての、ブロックのバランスを選びます。

左寄せ

開発部
食品課 江藤まこと

均等

開発部
食品課 江藤まこと

中寄せ

開発部
食品課 江藤まこと

右寄せ

開発部
食品課 江藤まこと

 重要! ブロックの割付は、「テーブル長 固定」と設定されているときのみ有効です。

1 文字を入力し、ブロックに分けます。

- ・ブロックの分け方 (37 ページ)

2  を押し、指を離してから  を押します。
ブロックが 1 つだけの場合には、手順 4 に進みます。

3   を押して **全文書式** を選び、 を押します。

4   を押して、「テーブル長」を画面に表示させます。

5   を押して、「テーブル長 **固定**」にし、 を押します。



数値が反転します

6 数値キー、または  (減)・ (増) を押して、希望の数字 (ラベルの長さ) にします。
元の長さより長い数値にします。

7  を押して、「BL 割付」の設定画面にします。



8   を押して、希望の割付の種類を表示させ、 を押します。
  を押すたびに、**均等** **中寄せ** **右寄せ** **左寄せ** と割付の種類が変わります。

文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、セットされているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです（ジャストフィット印刷）。

ここではジャストフィット印刷ではなく、自由に文字の大きさを決める方法を説明します。

●文字の大きさは、次の2つの方法で決めることができます。

- 文字単位で大きさを決める
- 行単位で大きさを決める

文字単位で大きさを決める

文字単位で「1 × 1」～「5 × 8」倍まで自由に文字サイズを選択できます。テープの幅によって、印刷できる文字サイズの最大値（縦方向）は異なります（テープ幅と行数・倍率一覧 132 ページ）。

1 × 1

禁煙

4 × 4

禁煙

2 × 3

禁煙

5 × 6

禁煙

- 縦書きと横書きとでは、印刷結果が異なる場合があります。例えば、1 × 2 と指定すると、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されます（上の印刷例はすべて横書きで作成しています）。

1 × 2（横書き）

1 × 2（縦書き）

終日禁煙

終日禁煙

【例】 「終日禁煙」の「終日」を1 × 3にする

1 文字を入力します。

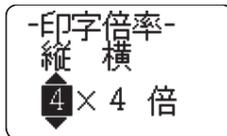
2 **機能** を押し、指を離してから **印字サイズ** を押し、**3** を押し、**あ** を押しします。



3 **↑** **↓** を押して **印字倍率** を選び、**実行** を押しします。

4 **↑** **↓** を押して **文字単位** を選び、**実行** を押しします。

5 縦の倍率の数値が反転表示されていることを確認します。



6 **↑** **↓** を押して、「縦」の倍率を設定します。ここでは縦倍率を「1」にします。

- 直接数字を入力することもできます。
- 不適当な倍率を入力しようとすると、「ピッ」とブザーがなり、入力できません。

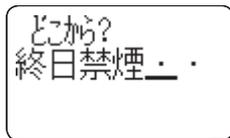
7 ②を押して、「横」の倍率数値を反転させます。

- 数字を入力したときは、自動的に「横」の倍率数値が反転します。



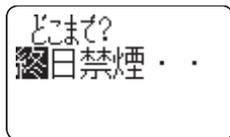
8 ④⑤を押して「横」の倍率を設定し、[実行]を押します。

ここでは横倍率を「3」にします。



9 ④⑤を押して大きさを定める最初の文字にカーソルを合わせ、[実行]を押します。

ここでは「終」を指定します。



10 ④⑤を押して大きさを定める最後の文字を選び、[実行]を押します。

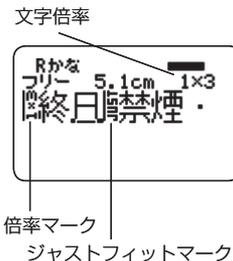
ここでは「終日」にします。

文字倍率：カーソルが合っている文字の大きさを表します。

倍率マーク：印刷される文字の大きさを表します。

ジャストフィットマーク：

自動的に付きます。このマークより後ろの文字はジャストフィット印刷に従った大きさで印刷されます。



- 倍率マークやジャストフィットマークは画面には表示されませんが、印刷されません。
- 文字サイズの指定を取り消すときは、倍率マークを [文字削除] で削除します。
- 倍率マークを削除した場合、文字サイズはテーブル幅や入力文字の行数に合わせて自動設定されます。ただし、削除した倍率マークよりも左側に倍率の指定があるときは、その倍率になります。
- ブロックを超えて、倍率の範囲指定をすることはできません。

文字の大きさ 1 × 3 ジャストフィット印刷



行単位で大きさを決める（フォーマット選択）

行単位で文字サイズを設定するときは、下のフォーマットから選びます。

- 文章の行数とセットされているテープカートリッジの幅によっては、異なるフォーマットを選んでも印刷結果が同じになることがあります。

行数	フォーマット	24/18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅
1行	A 	1×1倍	1×1倍	1×1倍
	B 	2×2倍	2×2倍	2×2倍*
	C 	3×3倍	3×3倍*	—
	D 	4×4倍	—	—
	E 	5×5倍*	—	—
2行	A 	1×1倍 1×1倍	—	—
	B 	1×1倍 2×2倍	—	—
	C 	2×2倍 1×1倍	—	—
	D 	2×2倍* 2×2倍*	—	—
	E 	1×1倍 3×3倍*	—	—
	F 	3×3倍* 1×1倍	—	—

行数	フォーマット	24/18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅
3行	A 	1×1倍 1×1倍 1×1倍	—	—
	B 	1×1倍 1×1倍 2×2倍*	—	—
	C 	1×1倍 2×2倍* 1×1倍	—	—
	D 	2×2倍* 1×1倍 1×1倍	—	—

※フレーム印刷時は、小さくなります。



- 6mm 幅、3.5mm 幅のテープは行単位で大きさを決めることはできません。
- 4 行以上の場合は、行単位で大きさを決められません。
- 文字単位で印字サイズを設定した後では、行単位で設定できません。

[例]

営業2課

西東京地区

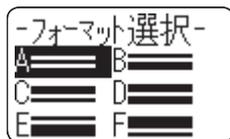
1行目：1×1倍 (2行・フォーマットE)
2行目：3×3倍 (18mm幅テープ)

1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **3#あ** を押しします。

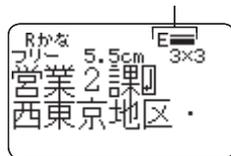
3 **⌂** **⌄** を押して **印字倍率** を選び、 **実行** を押しします。

4 **⌂** **⌄** を押して **行単位** を選び、 **実行** を押しします。



5 **⌂** **⌄** **⏪** **⏩** を押してフォーマットを選び、 **実行** を押しします。

選んだフォーマット



次の場合、行単位の文字サイズの設定は解除されます。

- ・ 行数を変更したとき
- ・ 文字単位で文字の大きさを指定したとき (48 ページ)

微小フォントについて

- 行数 (入力した行数または選んだフォーマットの行数) と、テープ幅によって、「微小フォント」となります (94 ページ)。
- このとき、画面右の「**微小フォント**」が点灯します。
- フリーラベルでは、分数でイメージャー表示されます。

イメージャー表示



微小フォント

- ・ イメージャー表示については、「2 行以上のラベルを作る」の手順 **3** (37 ページ) をご覧ください。
- 微小フォントでは、次のようになります。
 - ・ フォントの設定は、無効です (すべて同じフォントで印刷されます)。
 - ・ プロポーショナルの設定は、無効です (OFF になります)。
 - ・ 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
 - ・ 絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

フレームを付ける

フリーラベルの文章にいろいろなフレームを付けることができます。
フレームの一覧は 128 ページをご覧ください。

重要 3.5mm 幅テープにフレームを付けることはできません。



[印刷例]



1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **フレーム印刷** を押します。

3 **◀ ▶ ◂ ◃** を押して使うフレームを選び、**実行** を押します。
ここでは **□** を選びます。

4 **◀ ▶** で **印刷** を選び、**実行** を押します。

5 数字キー（または **◀ ▶**）を押して印刷枚数を設定し **✓** を押します。
1 ~ 100 枚まで設定できます。

6 **◀ ▶** を押してカットモードを設定し **実行** を押します。
印刷が開始されます。

- カットモードについて（62 ページ）
- 書式で「斜め **する**」と設定してあっても、フレーム付き印刷では標準で印刷されます。
- 「文字修飾」の「枠付」の指定は無効になります。

フレーム印刷できる行数

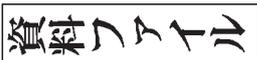
テープ幅によって、フレーム印刷できる行数は異なります。

	24/18mm 幅	12mm 幅	9mm 幅	6mm 幅
フレーム印刷できる行数	6 行以内	3 行以内	2 行以内	1 行

縦書きのラベルを作る

フリーラベルの入力中、または入力後の確認画面（25 ページの手順 5 の画面）表示中に **縦書印刷** を押すだけで、簡単に縦書きのラベルを印刷することができます。また、縦書きと横書きのラベルを一度に印刷することもできます。

縦書印刷



縦横同時印刷



縦書き（1 枚目）、横書き（2 枚目）がセットで印刷されます。

- フリーラベル以外では、**縦書印刷** や **機能** **縦書印刷** は無効となります。フリーラベル以外で縦書きのラベルを作成するときは、書式設定画面（39 ページ）で「縦書き」を設定してください。

1 文字を入力します。

2 **縦書印刷** を押します。
縦書きと横書きのラベルを一度に印刷するときは、**機能** を押し、指を離してから **縦横同時印刷** **縦書印刷** を押します。

3 数字キー（または **◀ ▶**）を押して印刷枚数を設定し、**✓** を押します。

1 ~ 100 枚まで設定できます。

- ブロック書式（38 ページ）で、縦書きと横書きを混在した文章を作成した場合は **縦書印刷** で印刷すると、すべて縦書きになります。

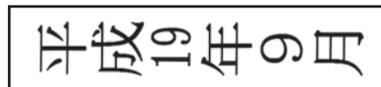
4 **◀ ▶** を押してカットモードを設定し、**実行** を押します。印刷が開始されます。

- カットモードについて（62 ページ）

重要 印刷するときは、62 ページの注意事項をご覧ください。

■ 「平成 19 年 9 月」、「'07 年 9 月」などのラベルの作り方

[印刷例]



- 「19」や「'07」などは、記号一覧（125 ページ）の記号を使用すると、上の例のようなラベルを作ることができます。記号の入力方法については、86 ページをご覧ください。
- 現在の日付や時刻を入力するタイムスタンプ機能や、有効期限などの将来の日付や時刻を入力するタイムスパン機能を使用した場合には、そのまま縦書きで印刷するだけで上の例のようなラベルを簡単に作ることができます。
- タイムスタンプ（102 ページ）
- タイムスパン（102 ページ）

バーコードラベルを作る

バーコードラベルを作ることができます。

また、レーザーバーコードを使って、レーザーバーコードシステムをコントロールできます。使用方法は、プレーヤーの取扱説明書などをご覧ください。

バーコードのタイプ

- (1) EAN系
 - JAN-13 (日本) / EAN-13 (ヨーロッパ)
 - JAN-8 (日本) / EAN-8 (ヨーロッパ)
 - UPC-A (アメリカ)
 - UPC-E (アメリカ)
- (2) ITF系
 - LB (レーザーバーコード)
 - ITF
- (3) CODE39
- (4) CODABAR(NW-7)

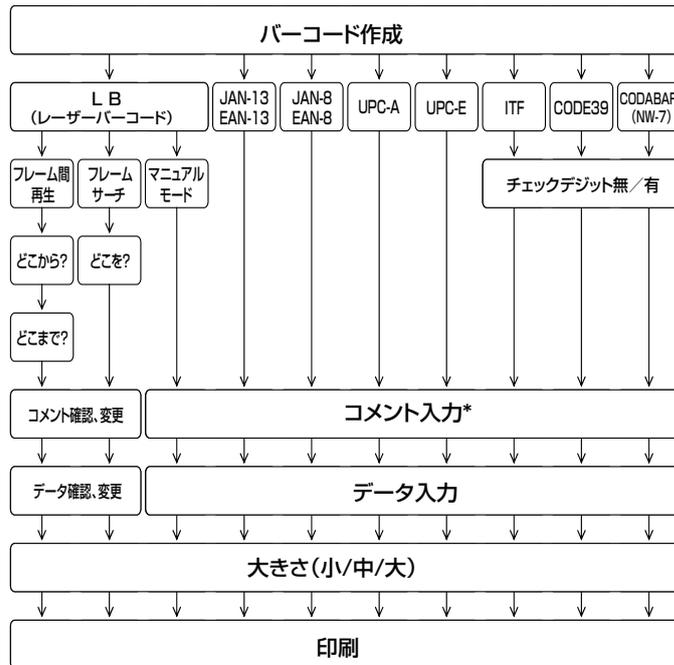
- 重要**  ・12mm 幅以上のテープカートリッジを使用してください。
- ・バーコードの上部にコメントを付けることができます (60 文字まで)。
 - ・印刷したバーコードは、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。正確に読み取れないときは、以下の調節をしてください。
 - 印刷濃度を薄くする (110 ページ)
 - 大きく印刷する (55 ページの操作 9 で設定)
 - カットモードを「特殊テープ」または「カットしない」にする (62 ページ)
 - ・バーコードラベルに適したテープは、次のとおりです。
 - 白テープに黒文字 (WE)
 - 白テープに青文字 (WEB)
 - 黄色テープに黒文字 (YW)
 - ・() 内はテープの型番です。

[印刷例]



(18mm 幅のテープカートリッジを使用)

■バーコードラベル作成の流れ

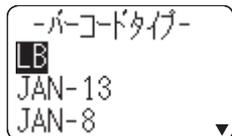


* コメントを入力しないときは、そのまま **実行** を押して次に進んでください。

1 **ON** を押して、電源を入れます。

2 **↶****↷****↵****➤** を押して「新規」を選び、**実行** を押します。

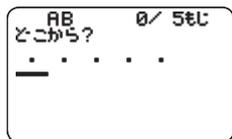
3 **↶****↷****↵****➤** を押して「バーコード」を選び、**実行** を押します。



4 **↶****↷** を押してバーコードのタイプを選び、**実行** を押します。
ここでは「LB」を選びます。

5 **↶****↷** で **フレーム間再生** を選び、**実行** を押します。

- バーコードタイプをITF、CODE39、CODABARとしたときは、ここでチェックデジットの有無を選びます。

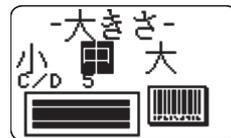


6 フレーム（始点）の5桁の数字を入力し、**実行** を押します。
ここでは「08500」と入力します。

- 操作5でフレームサーチを選んだときは、「どこを？」と表示されますので5桁の数字を入力します。そのあとは手順9に進みます。

7 フレーム（終点）の5桁の数字を入力し、**実行** を押します。
ここでは「12300」と入力します。

8 **実行** を2回押します。



9 **↶****↷** を押してバーコードラベルの大きさをを選び、**実行** を押します。

ここでは「中」を選びます。

- 大きくするほどテープの長さは長くなります。

10 **↶****↷** を押して**印刷**を選び、**実行** を押します。



11 数字キー（または**↶****↷**）を押して印刷枚数を設定し、**↷** を押します。

1～100枚まで設定できます。

12 **↶****↷** を押してカットモードを設定し、**実行** を押します。
印刷が開始されます。

- カットモードについて（62ページ）
- ラベルデータを登録するときは（66ページ）
- 「長さオーバー 印刷できません」と表示されたときは（120ページ）

バーコードの仕様

バーコード	チェックデジット ※ 1	印刷される桁数 ※ 3	入力する桁数 ※ 4	自動的に付く桁数		入力文字種 ※ 11
					チェックデジット※ 1	
LB フレーム間再生 フレームサーチ マニュアルモード	有	14 桁	5 桁× 2 「どこから?」 「どこまで?」	3 桁※ 8	1 桁	数字 0 ~ 9
	有	10 桁	5 桁 「どこを?」	4 桁※ 9	1 桁	
	有	4 ~ 20 桁	3 ~ 19 桁 奇数のみ ※ 5	—	1 桁	
JAN-13 EAN-13	有	13 桁	12 桁	—	1 桁	数字 0 ~ 9
JAN-8 EAN-8	有	8 桁	7 桁	—	1 桁	数字 0 ~ 9
UPC-A	有	12 桁	11 桁	—	1 桁	数字 0 ~ 9
UPC-E	(有)※ 2	6 桁	6 桁	—	—	数字 0 ~ 9
ITF	無	4 ~ 22 桁	4 ~ 22 桁 偶数のみ ※ 6	—	—	数字 0 ~ 9
	有	4 ~ 22 桁	3 ~ 21 桁 奇数のみ ※ 7	—	1 桁	
CODE39	無	4 ~ 22 桁	2 ~ 20 桁	2 桁※ 10	—	数字 0 ~ 9 アルファベット A ~ Z
	有	4 ~ 22 桁	1 ~ 19 桁	2 桁※ 10	1 桁	記号 「-」 「.」 「空白」 「\$」 「/」 「+」 「%」
CODABAR (NW-7)	無	4 ~ 22 桁	4 ~ 22 桁	—	—	数字 0 ~ 9 記号
	有	4 ~ 22 桁	3 ~ 21 桁	—	1 桁	「-」 「\$」 「.」 「/」 「.」 「+」 アルファベット (先頭、末尾のみ) ※ 12 A ~ D

- ※ 1 「チェックデジット」とは読み取り確認コードのことで、入力データより自動的に計算されます。LB・JAN/EAN-13・JAN/EAN-8・UPC-A・ITFの“有”においては、印刷される桁数の末尾に付きます。また、CODE39の“有”・CODABARの“有”においては、印刷される桁数の末尾の1桁前に付きます。
- ※ 2 UPC-Eのチェックデジットの表示はされますが、バーコード下に数字として印刷されることはありません。
- ※ 3 バーコード下に印刷される桁数は「入力する文字数+自動的に付く文字数」となります。
- ※ 4 この桁数に満たないときは、エラーメッセージが表示され、印刷ができません。また、この桁数以上の桁数を入力することもできません。
- ※ 5~7 LB・ITFは印刷される桁数が偶数でなければならないので、以下のようになります。
※ 5 LBのマニュアルモードで、入力する桁数が偶数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。レーザーバーコードのフォーマットに従って、もう一度入力し直してください。
- ※ 6 ITFのチェックデジット“無”で、入力する桁数が奇数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。先頭に“0”を付けて、もういちど入力し直してください。
- ※ 7 ITFのチェックデジット“有”で、入力する桁数が偶数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。先頭に“0”を付けて、もういちど入力し直してください。
- ※ 8 LBのフレーム間再生では、1桁目“2”・12桁目“1”・13桁目“3”が自動的に付きます。
- ※ 9 LBのフレームサーチでは、1桁目“2”・2桁目“0”・8桁目“1”・9桁目“3”が自動的に付きます。
- ※ 10 CODE39では、スタートコード(先頭)“*”・ストップコード(末尾)“*”が固定されます。
- ※ 11 この文字種以外の文字が含まれて入力されているときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。
- ※ 12 CODABARでは、スタートコード(先頭)・ストップコード(末尾)は、“A・B・C・D”のいずれかを使用します。また、先頭もしくは末尾に“A・B・C・D”以外の文字が入力されているときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。

QR コードラベルを作る

QR コードラベルを作ることができます。

QR コードとは、2次元コードの1種です。携帯電話に名前、電話番号、URLなどを読み取らせるなどの使い方があります。本機では株式会社NTTドコモの携帯電話（QRコードに対応した機種）で読み取りや登録ができる形式でラベルに印刷されます。QRコードの読み取りや登録については、お使いの携帯電話の取扱説明書などをご覧ください。

印刷できるQRコードのタイプ

- 1 電話帳（NTTドコモ電話帳登録）
- 2 ブックマーク（NTTドコモブックマーク登録）
- 3 フリーテキスト



- 18mm～24mm幅のテープカートリッジを使用してください。
- 本機で印刷するQRコードはモデル2に対応しています。モデル1には対応していません。
- 本機で印刷するQRコードは誤り訂正レベルがM（15%）となります。
- 本機で印刷するQRコードのバージョンは5のみで、その他のバージョンには対応していません。
- 印刷したQRコードは、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。正確に読み取れないときは、以下の調節をしてください。
印刷濃度を薄くする（110ページ）
- QRコードラベルに適したテープは、次のとおりです。
 - 白テープに黒文字（WE）
 - 白テープに青文字（WEB）（ ）内はテープの型番です。
- QRコードを大量に連続印刷すると、正確に読み取れない場合があります。

- ラベルを縦書きにしても、QRコードは回転しません。
- 電話帳のフリガナ項目でカタカナの濁音文字、半濁音文字は、QRコード印刷時に清音と濁点、半濁点の2文字に変換されます。変換後の4文字までがQRコードに印刷されます。

例：「バ」 → 「ハ」「°」

「バ」 → 「ハ」「°」

- 電話帳のフリガナ項目で「ワ、ヰ、ヱ、カ、ケ」は、QRコード印刷時に以下のように変換されます。

「ワ」 → 「ワ」

「ヰ」 → 「イ」

「ヱ」 → 「エ」

「カ」 → 「カ」

「ケ」 → 「ケ」

- 入力する文字列に「¥」「:」「;」「,」がある場合、携帯電話で読み取るときの制御文字の関係で、それぞれ以下のように2文字に変換されてQRコードで印刷されます。

- 電話帳の「フリガナ」の項目

「¥」 → 「¥¥」

「:」 → 「¥:」

「;」 → 「¥;」

「,」 → 「¥,」

- 電話帳の「E-mail」の項目

「¥」 → 「¥¥」

「:」 → 「¥:」

「;」 → 「¥;」

- ブックマークの「URL」の項目

「¥」 → 「¥¥」

「:」 → 「¥:」

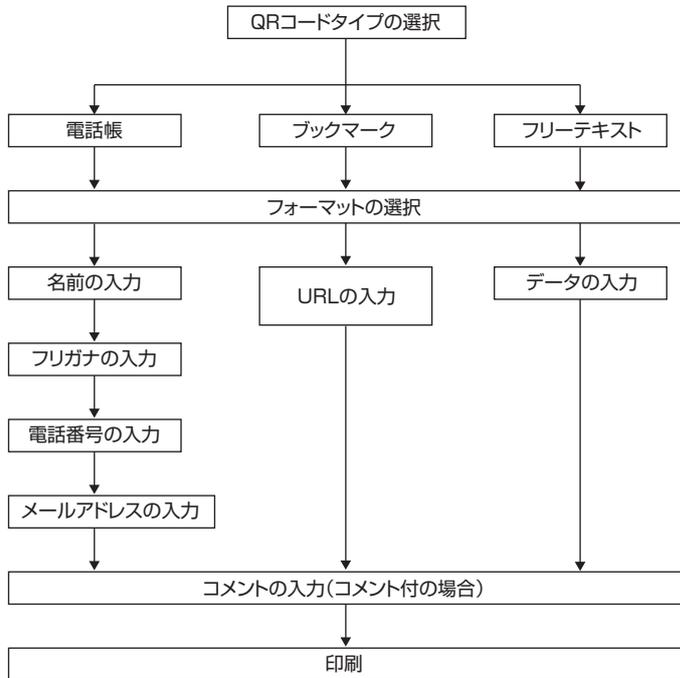
「;」 → 「¥;」

上記の制御文字の関係で「QRコード印刷の詳細仕様」（58ページ）の入力可能文字数を下回る数の文字を入力しても、すべての文字がQRコードで印刷されないことがあります。QRコードで印刷された文字だけを携帯電話で読み取ることができます。

■ QRコード印刷の詳細仕様

タイプ	フォーマット	文字印刷	入力項目	文字数	
電話帳	1.QRのみ	なし	名前	6	
			フリガナ	4	
			TEL	12	
			E-mail	30	
	2.データ付	4行	名前	6	
			フリガナ	4	
			TEL	12	
			E-mail	30	
	3.コメント付	1行	名前	6	
			フリガナ	4	
			TEL	12	
			E-mail	30	
ブックマーク	1.QRのみ	なし	URL	74	
	2.データ付	1行	URL	74	
	3.コメント付	1行	URL	74	
			コメント	32	
	フリーテキスト	1.QRのみ	なし	データ	52
		2.データ付	1行	データ	52
3.コメント付		1行	データ コメント	52 32	

■ QRコードラベル作成の流れ



- QRコードラベル作成時（コメント入力時を除く）はQRコード専用記号（126ページ）を入力することができます。ただし、記号一覧（125ページ）の記号や、絵文字一覧の絵文字（126ページ）、外字（105ページ）を入力することはできません。
 - コメント入力時は通常どおり記号、絵文字、外字の入力ができます。
 - QRコードのデータ構成の関係で入力可能な文字を上記のように区別しております。
 - QRコード専用記号は、以下の操作で入力します。
1. 86ページ「その他の記号」の手順1の操作をします。
 2.     で入力したい記号を選び、**実行**を押します。

[例]



上記の印刷例に沿って操作を説明します。

- 1  を押して、電源を入れます。
- 2    を押して「新規」を選び、**実行**を押します。
- 3    を押して「QRコード」を選び、**実行**を押します。

- 4   を押してQRコードのタイプを選び、**実行**を押します。
ここでは「電話帳」を選びます。

- 5   を押してフォーマットを選び、**実行**を押します。
ここでは「3」を選びます。

フォーマットは以下の3種類から選びます。

- 1：QRコードのみ印刷
- 2：QRコードと入力したデータを印刷
- 3：QRコードとコメントを印刷

- 6 名前を入力し、**実行**を押します。
ここでは「田中大介」を入力します。

- 7 自動的に入力されたフリガナが正しいかどうか確認し、必要に応じて修正してください。正しくフリガナが入力できたら、**実行**を押します。
ここでは「タナカタ」と表示されます。

- 8 電話番号を入力し、**実行**を押します。
ここでは「0009998888」と入力します。

- 9 メールアドレスを入力し、**実行**を押します。
ここでは「d-tnk@casio.co.jp」と入力します。

- 10 コメントを入力し、**実行**を押します。
ここでは「よろしく」と入力します。

11 ◀▶を押して**印刷**を選び、**実行**を押します。

12 数字キー（または◀▶）を押して印刷枚数を設定し、▼を押します。
1～100枚まで設定できます。

13 ◀▶を押してカットモードを設定し、**実行**を押します。
印刷が開始されます。

- カットモードについて（62 ページ）
- ラベルデータを登録する（66 ページ）
- 「長さオーバー 印刷できません」と表示されたときは（120 ページ）

伝言板を使う

入力した伝言メッセージを表示画面に繰り返し、表示させることができます。

- 重要**  • 表示専用の機能です。印刷はできません。
• AC アダプターを使っているときは、オートパワーオフ（節電）機能（18 ページ）ははたらきません。電池を使っているときは、オートパワーオフ（節電）機能がはたらきます。

1 **ON**を押して、電源を入れます。

2 ▲▼◀▶を押して「新規」を選び、**実行**を押します。

3 ▲▼◀▶を押して「伝言板」を選び、**実行**を押します。

4 伝言メッセージを入力し、**実行**を押します。
ここでは「午後3時までには戻ります」と入力します。

5 **◀▶**を押して**表示**を選び、**実行**を押します。
入力した伝言メッセージが表示されます。伝言メッセージは右から左に流れます。

- **◀▶**を押すと伝言メッセージが流れる速度を3段階で調整できます。
- 伝言板を使い終わったときは、**取消し**を押した後、**◀▶**を押して「終了」を選び、**実行**を2回押します。
- ラベルデータを登録する (66 ページ)

印刷とカットモード

印刷するときには以下の点に注意してください。

- ・27 ページ「ラベルを貼る」、「テープを空送りする」、「テープの余白を「送り無」にしたときは」をご参照の上、操作してください。



- ・印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- ・印刷中に、テープカートリッジ収納部のカバーを絶対に開けないでください。(12 ページ)
- ・印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」まで触らないでください。
- ・印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、**取消**を押して印刷を中止してください。
- ・テープ出口の周りに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。
- ・黒い部分の多い文字を印刷したり、連続して印刷すると、プリンターが熱くなり過ぎるのを防止するため“印刷準備中”と表示されて、印刷を一時停止することがあります。プリンターが正常な温度に戻ると自動的に印刷を再開しますので、そのまましばらくお待ちください。
- ・“印刷準備中”の表示になり、頻繁に印刷が停止する場合は印刷濃度を低く設定してください。(110 ページ)
- ・1 度に印刷されるラベルの長さが極端に長い場合は、印刷できません。ラベルの長さを短くする、または、印刷枚数を減らして、印刷し直してください。

カットモードについて (オートカッター)

複数枚のラベルを印刷するときは、ラベルとラベルの間を自動的に切り離すか切り離さないか選ぶことができます。また、テープによっては、本機のカッターでカットするとカッター部が摩耗し、故障の原因となることがありますので、注意してください。

- ・下記のテープは特殊なテープです。必ず下表を確認し、「特殊テープ」または「カットしない」に設定して使用してください。

・布転写テープ ・インスタントレタリングテープ	特殊テープ
・マグネットテープ ・反射テープ ・アイロン布テープ	カットしない

■カットのしかたについて

カットのしかたには 2 つあります。

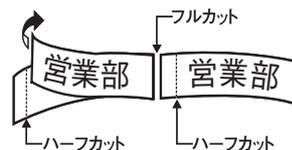
●ハーフカット

台紙はカットしないで、シール部分だけをカットします。はがすときは、ハーフカットした部分からはがしてください。

- ・「テープ幅の細い 3.5mm や 6mm テープ」や「薄いメンディングテープ」は、ハーフカットできないことがあります。

●フルカット

台紙もシールもカットします。



⚠ 注意

オートテープカッターに注意する

- ❌ 電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れないでください。オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。

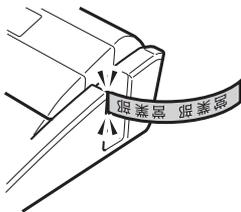
■ 4つのカットモード

カットモードには4つあります。

- カットモードは、「印刷する」の手順4(26ページ)で設定します。
- 余白の設定によって、カットのしかたと余白部分の長さは異なります。詳しくは「カットのしかたと余白について」(65ページ)をご覧ください。
- 書式で「余白 送り無」に設定したときは、どのカットモードを選択しても、フルカットとハーフカットはされません。(27ページ)
- テープの長さが「余白小のときは、約28mm以下」、「余白中のときは、約35mm以下」、「余白大のときは、約45mm以下」の場合は、自動的にフルカットやハーフカットされないことがあります。印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。

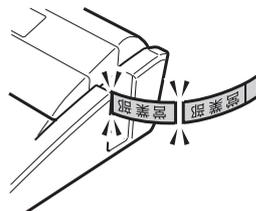
● 通常

- ラベル間はハーフカットされます。台紙がつながっているのに、ラベルがバラバラになることはありません。
- 先頭には余白が付き、はがしやすいようにハーフカットされます。
- すべての印刷が終了すると、フルカットされます。



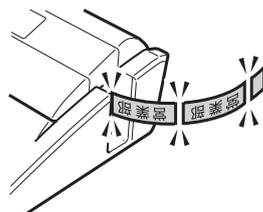
● 切り離す

- ラベルごとにフルカットします。
2枚以上印刷するときは、カットされたラベルがテープ出口をふさがないようにご注意ください。テープ出口をふさいでしまうと、テープ詰まりや故障の原因となります。
- 各ラベルの先頭には余白が付き、はがしやすいようにハーフカットされています。



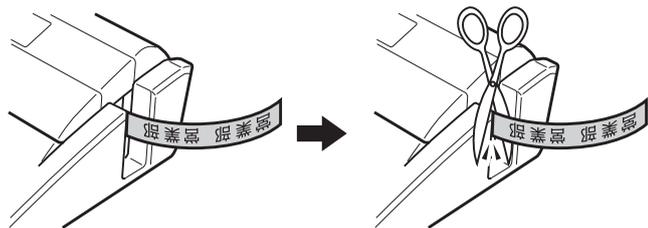
● 特殊テープ

- 布転写テープ・インスタントレタリングテープに印刷するときに設定します。
- 各ラベルごとにフルカットされます。
- 「余白 小」「余白 中」を設定してあるときは、印刷中に、余分なテープが自動的にフルカットされます。



●カットしない

- ラベル間はカットしません。
- テープをカットするための余白を入れずに印刷できるので、ラベルが節約できます。
- マグネット・反射テープ・アイロン布テープに印刷するときは、必ず「カットしない」に設定してください。
- 印刷終了後、**機能**を押し、指を離してから^{テープ送り}**0**を押してテープ送りをしたあと、ハサミなどでラベルをカットしてください。



反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープについて
反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープは特殊な処理
をしてあるテープです。

カットするときは、フルカット/ハーフカットはしないで、下
記の手順に従ってハサミなどをお使いください。

なお、本機のフルカット/ハーフカットで反射テープ、マグネッ
トテープ、アイロン布テープをカットすると、カッター部分の
寿命が短くなり、ハーフカッター部分が破損することがありま
す。ご注意ください。

- 書式の全文書式で、余白を「送り無」にする（41 ページ）
またはカットモードで「カットしない」にする
- 印刷する
- 機能**^{テープ送り}**0**と押して、テープ送りをする
- 反射テープ、マグネットテープまたはアイロン布テープを取
り出し、ハサミなどを使ってカットする
 - ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

カットのしかたと余白について

カットモードと余白の設定によって、カットのしかた（フルカット／ハーフカット）と余白の長さは異なります。

カットモード		通 常			切り離す			特殊テープ			カットしない		
余白	カットの タイミング	先頭の余分な 部分のカット	1枚終了ごとの ラベルのカット	印刷終了時の ラベルのカット	先頭の余分な 部分のカット	1枚終了ごとの ラベルのカット	印刷終了時の ラベルのカット	先頭の余分な部 分のカット	1枚終了ごとの ラベルのカット	印刷終了時の ラベルのカット	先頭の余分な 部分のカット	1枚終了ごとの ラベルのカット	印刷終了時の ラベルのカット
	余白小	カット	ハーフ カット	ハーフ カット	フル カット	ハーフ カット	フル カット	フル カット	フル カット	フル カット	フル カット	無し	無し
余白		16.5mm	3mm	3mm	16.5mm ^{※1} 5mm ^{※2}	3mm	3mm	21.5mm	3mm	3mm	21.5mm	3mm	3mm
余白中	カット	ハーフ カット	ハーフ カット	フル カット	ハーフ カット	フル カット	フル カット	フル カット	フル カット	フル カット	無し	無し	無し
	余白	9.5mm	10mm	10mm	9.5mm ^{※1} 5mm ^{※2}	10mm	10mm	21.5mm	10mm	10mm	21.5mm	10mm	10mm
余白大	カット	ハーフ カット	ハーフ カット	フル カット	ハーフ カット	フル カット	フル カット	無し	フル カット	フル カット	無し	無し	無し
	余白	5mm	19.5mm	19.5mm	5mm ^{※1} 5mm ^{※2}	19.5mm	19.5mm	－	19.5mm	19.5mm	－	19.5mm	19.5mm
送り無	カット	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し
	余白	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※1：1枚目の印刷のとき

※2：2枚目以降の印刷のとき

作成したデータを登録する・呼び出す

作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。

登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。

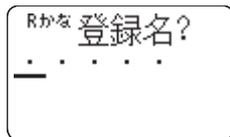
データを登録する

データに名前を付けて登録します。

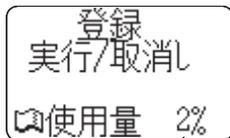
文字の入力が完了すると右の画面が表示されます。

印刷登録終了

1 ◀▶を押して**登録**を選び、**実行**を押します。



2 登録名を入力し、**実行**を押します。
登録名は5文字まで入力できます。
・登録名はデータを読み出すときに使います。



すでに登録されているデータがどのくらいあるかを示します

3 **実行**を押します。
「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

登録したデータを呼び出す

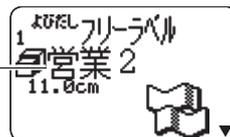
登録したデータは、作成方法画面（25ページの1の画面）から呼び出します。

1 ▲▼◀▶を押して「登録データ」を選び、**実行**を押します。



2 ◀▶を押して**呼出し**を選び、**実行**を押します。

登録名が表示されます



3 ▲▼を押して呼び出したいデータの登録名を探し、**実行**を押します。
データが呼び出されます。
必要に応じて、修正・印刷してください。

登録したデータを削除する

登録したデータは、作成方法画面（25 ページの 1 の画面）から削除することができます。

1     を押して「登録データ」を選び、**実行** を押します。



2   を押して **削除** を選び、**実行** を押します。

登録名が表示されます



3   を押して削除したいデータの登録名を探し、**実行** を押します。

「よろしいですか？」と表示されます。

4 **実行** を押します。

- 他に登録文章があるときは、その登録名が表示されます。引き続き、削除することができます。
- データ削除の操作をやめるときは **取消し** を押します。

MEMO